時到○機より成る一隊は浦東の敵砲兵陣地の空爆を行ひ夫々敵に多大の損害を與へた 上海十八日同盟」我が海軍航空隊〇艘は十八日午前六時過ぎより凡そ一時間閘北一帶の敵陣爆撃を敢行、更に同 包圍攻撃し來れる凡そ二個旅の敵に對して猛烈な空爆を敢行した 我空軍再度爆撃す 我飛行機更に空爆 樹浦、引翔郷の上空に現はれ昨夜來同地區に集結我が公大彷工塲方面【上海十八日同盟】我が海軍航空隊の○○機は十八日午前八時四十分楊 华を飛翔、戦回爆弾を投下し多大の損害を興へて歸還した ある市政府方面上空に出頭、公大部隊前方の敵陣地に對して再度爆撃 【上海十八日同盟至急報】我が海軍航空隊〇機は午前十一 上海十八日同盟〕我が○曖は今朝龍華飛行場及び淞滬警備司令部の上

各租界の食糧品缺乏 た支那細民横行

開発、郷田紀に左翼した評鑑、郷上京理を至六人で原を事か日益。てしまひ、で部局常層でも楓を貫きす人に同盟と歌州川県博の「綵になつである、後等に秘理店の「トックの品額はすつかり用田され |雑酒し和発内には既に食糧||り、既はトラサクの米俵を被免す||なの缺乏は著しく十四日以來金膳 策をめぐらしてゐるが特に果物野 支那機十二臺

民は十萬と云けれ、耶難以來既に一堂々と議合からおどり出て張ひ去。

整之し住むに家なく現金の排合せ | る等不気味な事件が次々出て来る | によらなくなつた各関語整のホテー弱への情報によれば、我が果敢な | 関船には断標器具を敷積板、軍監 **7在「史那副民代限が乞食となり」上海の生命とも云ふべき黄浦江の「ルも次第に源道し「遊旅館でもろ」る爆撃に関し至うして破壊を発れ「三名も同葉してむり上西河着のト** 一条位が関係な地段である。た支那部原機十二級は十五日末期。はアメリカ居留民の影響に至る管 【版東十七日同盟】嚴東支那軍監一的マニラ出級上海に向け急行した 厳鬼省大漢飛行器に逃避、既に第 ニラ駐屯の陸前峰二一名及び陸橋

楊樹浦、虹口方面鎭靜に歸す

我兵警備

練になり原葉なく同地にて無馬

関班及機林署の配近に落下して危 事より外務省への小電によれば、 上部局は正年頃支那側の風難が楊 【東京電告】十七日上海尚本總領

上海急行 ニッ十七日同盟』アメリカ汽

尾、松岡兩從軍窩眞班員撮影)

汽丁。 高粱畑に立つ我第一線の勇士(故松 北支戦線から 場る皇軍の萬

工部局警官撤退後

リークを渡り我が北部郵帳に来、東美島的近の数の相當兵力はク東美島的近の数の相當兵力はクー、敵は市政府附近に盛んに兵力

海軍武官室發表の戦況(獣婦)

敵の迫壓砲弾飛来しつくありるなほ時や陸艦隊胎近の駆線に一、間北方面の敵の砲火ル黙せる

宣政師斯上一般居留民に對し直に り悪いてゐたなく我が卒軍の護者が高らかに鳴 たが、数日後には更に全部所南を 置する虹口地帯の上空は頻楽間断 態感を行つた、我が在留同胞が居 【新島十七日同島】西南監剖ア 米人も引揚げ

不安に戦く廣東

排日の激流全支に溢る

日清汽船の各船舶を 支那勝手に移動

宮陽力、整陽力、長陽力及び盛東 江沿野民留民引揚げ完了後同方面」かし今までの所沈思は免れてゐる 「上海十八日同盟」日清河船は長一変河江思飯用に使用しつつある 黄浦江閉鎖用に使用 への意向

留中のところ、疑組日本

報によっと歴史にあるが人使用支 | を整へたまゝ町後を整成しながら | 六日午後離戯一間を宮町に指数、近を駆じてをり、斉浩に選した[6] 養戒、更新の我が○○も聴聞戦機 | て事務業行不可能となったので十分を明して **受けした選集は我が伝覚照入の会」 夏鱧の選鵬を受け突は連門配合よ「単の電景派外襲撃により市内は大fi産帯十七日同盟」全面経歴日を「養華に顕著した、同能は選中支那」近:行は十五日來並回に言るわき** 避難支那人は廿數萬 御門 混風に陥り、危険が身邊にも迫つ

取行した選束は我が在留別人の全

引揚げに今さらの如く極度の不

り障壁を受ける恐れがあり、

那人二十歳名は悉く支那公安局交|下近したが幸む不慮の紀旧もなく|東方に向つて智が代を齊唱屋上高郷人二十歳名は悉く支那公安局交|を整へたまく前後を養被しながら|六日午後能戦|同を警戒に指針、最によると屋県にある郭人使用支|を整へたまく前後を養被しながら|六日午後能戦|同を警戒に指針、 は感には、向引されたとのことで一番種に安着した、経緯に落着いた 中は器領事以下盤銭十二名は財産 同談を呑んで午後四時外交部出立く翻つてゐた大日章餠を引下し一 東方に向つて野が代を齊唱屋上高 の封田別車に乗込み、恵兵五十名 に渡られて販室等る津浦線を北上

人脈の個器によれば重複へ運転

佛政府引揚を訓令

日高參事官等

香港に到着す

廣東在留邦人

揚げる東定である

政府は聚念五相館※終了後、唯中

地中海の自衛 権發動も聲明

)被害甚大

8十一時十五時副官談の形式を以 「東京電話」 海軍省では十八日午

大型搭刹師二棟を爆破せり、我人型搭刹師二棟を爆撃、敵の大型爆撃機及び、他は恵天候を冒して海撃浦行の機は恵天候を冒して海撃浦行の機は恵天候を冒して海撃が

國軍需會社から

名を派して取り取す紅口クリーク 阿本總領事に對し何とか工部局別

退を開始したので、我が〇隊は〇

は書を左右にして豊方の要求に薦し孔華無よりの報告によれば、 谷することに手配を決めた、更に | 空軍の活躍により流波的打魔を受 ル、ブロードウエーマンションな一介石が、孔祚熙に對し至急外國の 塗に悪肚なる決意で同方面を鑑| 間に懸部五千萬弗の武器閣人契約 いては本邦湾船内へ取あいず取一は高射機關鉄、タンクなどでわが 午後四時五十分に至り○除 日チェッコのスコダ軍賠償社と に成功したと言はれる、勝人武器 けた支那軍の建直しに狂弾する肺 【上海十八日同盟】目下帝歐中の

備するに決定、右方面の居留民に

避難を希望するにつきその一|軍警舎社との間に意思勝人交渉に

紅日方面の居留民はアスターホテ

器を購入 蔣介石建直しに狂奔 スコダ酸社との間に交渉成立を見

低類あり、極力努力したが工部局 をして思ひ止ましせる様工作方の

我空軍の活躍に 歡喜する同胞

激戦猶各所に續 らかに関けた、空は晒れ渡つてあした我が海道飛行機が夏霊の間を 【上海十八日同盟】十七日夜は安] る、午前六時突

| 留民の徹収方につき割合を避した | 空を丸い編修で必要な高度を保つ のみが知る器びだ、澄み渡つた碧 この類びは敵の名とを受けたもの た、同胞は散高の高びを撃け 直る間に蒙くたる黒煙が立ち

ってゐるのだ、この間統一時間機 を使回してゐる、虹口を至かい被 勝間に亘り敵の根據地に徹底的

REW To Zi うな。 Wir が が けて REW To Zi うな。 Wir が が けて

矢のより 豫定通りベーやんこ つけること

か、下野ゼぬうちにやつつけて

那の飲送局は慢 労力をなすべし

るべし する不思言者を

八夏

丁一時四十分辭去した 問題に関して重要協議を牽け同一 小站附近で

前 10 月イギリス酸脂は酸皮酸 所より名前 の自入れに関した複雑はない、 ええら 同語級所に関せる。 対象 はい えい ロンドンション大使酸ドイセ 日 「新型提訴の可能伝え換してなくなった際ではない」と置った

敵を撃退

本府辭令(記)

醫學博士

都築益世氏鑑製都築甚之助氏發見

海事 大沼 惟隆

海軍副官談を發表

【東京電話】 駐日ドイツ大使フォーを策しつゝあるものゝ如くである 間の後多大の接続を興へて之を 鏡を有する既と遠遇し、激戦散時だて我が〇〇部隊の一部は帰機器 南方約二十キロの地監小路附近に 七日同盟一十六日

推導) 山学佐一郎 法院長) 本・末殿 清吉 事・末殿 清吉 法院長) 法院長)

乾性脚氣

ドイツ大使

外相と協議

居留民保護等に開 英は聲明を發す

【ロンドン十七日同盟】イギリス | 力政府は上海の基態に髪みサンチ

退暖を命ず

(E) 花花(花)

昌

性脚氣敏

衝心脚氣 濕性脚氣

(許特賣專府政獨米英)

等 田尻 降這 基務官 事務官 基礎部務之命ず 法院部長) 法院部長)

名を上海に派遣する言庭扱した

考戚し、更に同方面に 於って早、淡直事楽歌願まます。 整葉名歌唱、西相曾観じれいて上海における。 「上海十八日同盟」上海事歌誘動「西田の平和的解決を開保するた。後受那側は『總でを襲性にして勝い語の平和的解決を開保するた。後受那側は『總でを襲性にして勝いる相信報』上海事歌誘動 院軍事委員會は軍事、産業各部門 法院頭職で三度修正の授まる十二三り勘り責法を起草し継続 【上海十八日同盟】上流事意動館

> (京城地方法院判事) (京城覆寄法院判事)

(平湖地方法院判事)

長競

...方法院判事) 高岛率脫耶

說

明

京城地方法院判事) **法院判事**) N.

世見 第二 法院標事正)

抓釜山地方法院檢事正 (院被事正 (院被事正 (格本恒五郎) (法院檢事正)

化學商務部長 SECTIONAL STREET

のため東上中のとこ(龍山中學校長)か

の心事。所詮悟

さしてなるもの 答赤廳

を見上同時に空 價 定

藥毒消傷 123

|兒。下痢。大膓加答兒||痢。小兒綠便。大膓菌||カタル。疫痢。膓チブ 應 症 の性ス 特勝の 効脱初 藥加期

新發賣 小 兒 刺百八人 金麥國五拾國門一磅人 金廿國五拾國 用 南信堂新樂部 超南五十人 金八 十 糖衣丸 金鳖圖 鉄鉄

新 묘 麻痺性 乳兒脚氣 等の治療 產褥脚氣 姙娠脚氣 及豫防劑 脚氣

查多拾五套拾六套七四拾 四五拾 四五拾 例因即發到的四發聲 南 東京市議谷區水住町 新 雲 常代理店 船

表 個 定

同二同同別競斗 キャース五百 サス五百 五百千五五章半十二 五百十五五章半十二 五百十十百時間五 入人人人人人人人人









によって南路督へ去る十一日 中央部から杉山陸軍大臣の名 けてゐたがこれに戲謝した軍・一體の實を舉げて息軍を扶

最も男取に活躍した、西部地は里

信手などが死傷者の代りとなつて には〇屋長瀬原、古田、方質各四 ため必死の努力をつつけた、動調

手だけとなったが、観測口跡の連

を見、決然として肥準権に飛つき 南地攻艦に膨上の陰長の戦令で射

問死の職闘で敵の集中射戦を受け

同 芳賀正雄

が呼び起ち上つて邪戦を撮迹する

加へて計四日夕から食事も執つて

一調で友軍歩兵は一斉に突撃を開始を花に戦死したが、この勇敢な乱

 優美進尉 伊藤憲之 各古屋市罐木町三丁目一番地

手の機関出三君らはいづれる大郎 してゐた白漢質是職に〇〇祭観測 隊長趙木出長及び励興で叱咤激動 るうち交もや芳賀上等長に敵弾が

上説ぐましき銃後の動めに内、 館各方面にこれを展達した

り深謝に堪へず、強みていきに襲し紹大の側を助う。それの側に虚に預り特に日今回の軍隊機送に際してい

主题为被以來全中品 員

來たので翻督は更にこれを全

陸軍中央部感謝 半島民の赤誠に

百勇士の遺骨

◇京城林町大籔かはるさんは可愛

めてその金一頭八十銭を京城憲兵

子供に浴衣を買つてやるのをや

國のおかけだと十八日早期、仕人 年幸福に生活が出來るのは日本帝 歴典君(こ)に日本に來ても5十五 北米的町九二軒至行路のニーヤヤ

然大詐欺師

に行く的本町署に立置り金玉圓を

地西山地企

無言の凱旋

日ごろ龍山驛に到着

初は無一文だといつて同様にされ で七十四回卅九銭の豪盛をなし最

『城府東本町乗起二(こと)外三名は

て興味をひいてゐる

右票君が時間一萬國の土地を相談。諡に入れさせ、これと推上げんと一

組は十日も監禁

無一文だと言ひ襲り東大門警覧に ひ宮城區協町郭水替といふ高利鏡 の間に指上げんとしてあた犯行が 二子原園の観覚を請求すると交も 中が一聯となつて甘富で職者上購 一文と言識つて匿録りをさせ、彩技を担手にどんちゃん続きの果 したのを知り黒後フローカーの連、して飛行を引つ優り超し精製さ

に一萬八千圓で十萬圓の土地を抵。頃れ目下表現者の行方設殊中

面の皮をむかれた悪ブ

П

連

六日午後八時ごろか、右東明館

つた〇〇部隊が兵の遺作二百俸世の郡い城神となつて北支の花と前

明5、顾河村、行宫、南观、熊湖

で名聲の形死を選け東洋生和脈ルー所に安置され、軍部及へ遺族によー可するが、花環供物等は肺臓副質

問認者に渡いれて借行社に入り同一人時まで佐行社で一般の多理を許

月末合同告別式執行

つて通夜を鶯まれるが、合同時間

部で受付けることになってある

おいて開催の財鑑祭に参列のたった。選行も時、選行を認述するため闘ー、選付を認述するため闘ー・選付出迎文は受領のため振行・

びる前に早く

容置三世と共に發

ので飼路客で取調べの結果一味を

会する部別事件にもメスを入れて てゐたものとにらみ目下製面に否

みる

地の王座といはれて居る

|東小門外天着戦闘||悪に取れて突も一つけてあた事質が戦り目下同窓はを聴したが一味は間もなく今遅は | 一彩に監察、錠を陸して見渡りを

要ってるだ一味に手の切れでうな「百六十七回七十三銭の戦遽をなし、あやつり金配を増上げるべく外部 | 器供好解では引法の取調べをまつけるたるや奇怪にも無一文を頑(八日年後六時から東別館に入り三 (群の上、田舎の富順の思すと玩に) 事實は實に重しかいんとして網路貨が立たるや奇怪にも無一文を頑(八日年後六時から東別館に入り三 (群の上、田舎の富順の思すと玩に) 事實は實に重しかいんとして網路対象

| 方振成形古版画編輯里表記様で||監整罪のもとに嚴重な取過を受け|| 題に物勢でお客と如何なる意味に

椋鳥は金持の馬鹿息子

札で支掘りを済ませ機勢の手が延 十日間に言つて監統されてゐたも | との歌略を**斷つ手**数として監禁し | て東明解し鬱乎健分すると言つて

軍人軍屬の

遺族優遇 **製道省で實施**

院院長植木定江

下協力一致一〇底長の射線指揮の一般の射動を受け政然として膨動するとの原と〇家と〇家は、一般の射動を受け政然として膨動する。

皇局上華兵松原館一

下に黙観中、松原配手先づ資優し

が、河間間手は暗像だった電手雷 次で山中、河間開配手も近断した

命中して胜烈な野死を遂げ、交口

後弱薬の整備に着り非上記手頭薬

を搬送中、廿五日以來不眠不休に

である。

列車で帰還の途についたが廿一日 は十八日午町七世廿分〇〇〇郎

般所以の際んなる用型へを受け、「武芸日まで毎日午町八時から午後とになった、資併に駅前廣温で」」も盛大に行いれる館である、戦闘

【東京電話】北文事配のため顕現

た軍人軍闘の遺族優遇案として

同同同

配死同 同

古田米蜜 河原慶一 井上利熊 山中一志 1ろ即山路に無当の即域とすると一時に今月末即域でしめやかな中に

簡にベンを走らす勝井本社常の政(左) 駅で戦助三百米に於て戦戦中の〇〇河隊長(右)

敵前三百米で悠々觀戦

一萬の學童を動員

式典、神社参拜、慰問袋の調製

明、 添か来方に向つて泉出を漁乳し風出物神作鬼、 配視を奉献、 製技では一膏に ~ 愛國日 ~ の式処を繋行、 先づ威勝に群を代で齊 製技では一膏に ~ 愛國日 ~ の式処を繋行、 先づ威勝に群を代で齊 風の大機神に高遠させ、 各 を起すことになった。この目全半部3至と階して高く場付られる限日々と定め気能自サ萬の無权主張局電を動動域。一大堂園園動画に期國一致の高く叫はれるとき、本前では茶る九月六日を8登 児童なき支那軍、K飛竹鷹度は座に全面的衝突の信局を孕んで

民の示意をこめて各型部的に欧門婆を作るとになった、一里統州北に書拜し國威官道と書車の歌画表列を祈願する、交響日は小園能に書拜し國威官道と書車の歌画表列を祈願する、交響日は小園を改善の歌画を観察させて武を終るが、頭に武後は神観に登れ」と時間の歌画を影響を行って「武となり園 四個を改進として整数に流れず、金融出述の概むこうるものとする語で、動語は生態の直接とせず整数室間で適宜な方法を取ることになってゐるが、金離から 各乃至四十名の場合は一個乃至三個、共以上の人間ある壁役は三

約三萬個の慰問袋 が作られ、然一級の勝失に

局解説」のパンフレットを全鮮の生徒定案と通じて各民際に配布を決言報的歌として終行されてゐた『北支部庭結後実際』や『時景 で練ってあるが近く各性知事は「瞬気方面に頭膜」れる語。なは全事最上未成の一色に覆り違うと愛國日々の具體素は日下影務局 時同認識を徹底することになった

致大家族主義のモット1に能つて金を贈る左ど二萬五千の局段が一

死者には用駄金や花風、肺瘕者に して出征軍人の家庭を訪れ歌句 見舞金を服り、また慰問取で組 鐵道婦人會 IIA 自慢 活動目型まし

用して銃後の一蹴として、鬼鬼の「年の美はしい心掛に大いに懸心し生小松は沼西(こと)「暑中休暇」利 をしてあるが軍の人々は、この好生小松は沿路後町大九寨副商業の四年 の戦がにつくして離心に努力発出 ために避したいと第廿四國司令部一てゐる 軍で勞力奉仕

作業の手序び電話の武器、即作等

を追加し到着路線に朝

善隣商業生徒

不が

アンチホリチン (マルカッツ) 本田・東西 新 薬

ちかク草煙新



眞綿を獻納

糖と服ひつるあ 且下各世支領艦に全轄六百五十億 細胞料代を飲納せしめることメレ り鷹五粒以上を、翻糸紫雀より頂。剣國いために御役にたてよら 繭五粒以上差出 人の愛國運動を起すことになっ 朝鮮上飛錦人に呼びかけて半島

全鮮八十五萬の養蠶家が

イケダ小見内科

勝**病** 三**院**

御食膳にも

一部 々 しい

深島の髪ー

の自己ない日本の

・器名類店にあり

多秦四年60 照本 上大一届19城局基设施四三城市,对北京市市大学工作

様へスター前にして水田高沙路町にはし草めを 奏す、東部の不快たる存派型は町田後破中にし て去り間に1世を再生せした。 万は早期に本層の間を用を置む 京城府本町三丁目

所語本紀21 二三四番

| 角切めまでには取鑑の愉長部に試 **麥國金釵會**

徹底周知のため活動中で埋くも十

近にれてるたが態と二十日午町で

いよ路にしたい方々は、関係に、御家庭をいよく断

お子様方をいよく師立派

離方もお子様方 !

講談社の絵本」

志らが赤毛染

NOS TRA

もダンーへ良くなりますお子郎が良くなれば家も

縮本は子供の宣

ナ供は家の暫

を所の個共同販賣所を通じこれが 「愛園金飯館」の結成準備は着

二十日發會式

| あつたが十八日之が周別は間を護一条熊八十五萬の整撃家より | 再雲 | 『私選の金かんざしを投げ出して

哲"小腹軍司令寶、本府各局長

領数をあげて直ちに置行が

殺人トラツク

個声の短期度

を開発した。

武田 産婦人科病院 「動物性」は、田・正一房 「動物性」は、田・正一房 「動物性」は、田・正一房 「動物性」は、田・正一房 「動物性」は、田・正一房

て開めなく同方面に向つて前方と連続足城へ向ふ途中、加平を出典以下。)がトラック原五二一二品

型して各等五期引め施行する時 部、師國司令部、聯隊周司令部、職役所、開西隊において設行する 避難者の鐡道 週族旅客運貨圏引起は軍司令
脳間は省線谷驟相互間 神戸又は三ノ宮、及は佐殿各際及 線、地方線首軌道交上机路(小棒 び省級と連告連覧をなる権太内地 五則引としてその原間を技術群、 創明は、さきに鑑道省時小により 在日刊人の理解し対する問意が対

大連、天体、上海、背景、加盟的 を除く)各郷取規所と定められて 小樓戶時間、北鮮、在盛

間で超い式を行った

【東京電話】北支事機による支那

料理屋の監禁事件

割引區間擴大

支那人が献金

吸行でも 防腹壁を構成して、十八

の機運に向いてゐる折柄、減城

早削七時、朝鮮神宮に林函取以

数は行战百七十年名が多場して

就銀行が置々とその特別所護期間、京城府内の各官職を切めとし結婚

漢銀防護團 酸團式を舉行

護綱を献納するととなった、即も

清,助红 全館八十五萬の雑瘟家及ひ四糸梁 し寄せる、この時朝韓監絡前では るがやがて響下致十度の順気が押

し防寒、防ਆの役に立っ

天氣豫報

宠玉 備場

極光工業株式會社

京

城水登浦

南東の屋同じ 強ったり

関連の風間に | 南東乃至 関西の風同じ

優秀日本刀敷多取揃へ展觀 ………………時局重大の折柄大和魂をシンボライズせる

~をのんだ!真の軽い朝〇

本刀劍展覽會京

ホーロー看板注文にも應じます

仁川の潮時

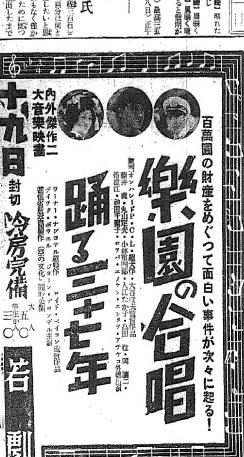
京城地方 万(今院) 晴れ

部・千圓献金

國民は現金一千里を上司を通じ國一つてあたが兵役の義務もなく確しつたが十八日本府總務局総統府第 かしてお園の嘗めに遣したいと思として動動し世人の質響の間とな「都であるんであるが「自分は何」として動動し世人の質響の間とな「都であるんであるが「自分は何」 直ちに要用が聴眠となったもので、です」と誤った さきに「覇官が「萬国を國防飲金 九十五国の月保で年收税三百石

學務局の朴濟鳳氏





寧邊郡の

選舉違反

何れも有罪

康議員失格

どから二個の即決器金として

撤さ『巡視しましたが異伏さ

能後の原則なく際疑に愛嬌な

地方民に通信せしめ区が

金三里で釈決に服し失欲した、騒がいづれる 貞単と 物供され、郷がいづれる 貞単と 物供され、郷がいづれる 貞単と 物供され、郷

銃後に溢る感激の献金

南軍事救護會 道民の赤誠凝つて

調の施行面の支那人姜奉聞さんは那人劉實章さんと暗外光城面飲油 類義州署に原湖と感識の廿回を図

海流州 海索斯州川道西斯科

以はか二十一名は選別遠反に

器の金属で氏が昇格するわけで出

次指者も失格の場合はたいの

所内西城里八六の徐成實(平區) 夏の日の僻荒事件

電を中心としてその家族及び家庭。第二章 疑いをなからしめるため軍事教護と集 あつて熊熊中の我が将兵の後顧の「砂子」

と樂まつゐるので数日中に策定額を

際はもこの道

【平별】 平南道では均然の北支に も十六日遂に豫定商の一風風を突

基金倍額に近づく

妻さんは一國を皇軍慰問金として 院献金として書紙、更に能行動の 學校長を訪ね『児童に総路を通行んに鑑路を測視する一方五山豊田

作日から群山線五山線を中心に鑑

め特派されてゐる都に』と去る

以前同面新里の新醇の工事中ご

ケ月働いたことのあつたのを奇

三二種藤所と野部協館釜山支那宛一

取引希望の朗報

早くも天津方面から

早速商議と貿易協會が

で、富然貿易の職態を来すこと にてあるが早くも天祇が囲から にてたるが早くも天祇が囲から に来たるものは経過で作の樹立 に来たるものは経過で作の樹立 に来たるものは経過で作の樹立 に来たるものは経過で作の樹立 に来たるものは経過である。 に来たるものは経過である。 に書きなって含多で有見なる。 に書きないではないかとみら 数すると共に調査中でこ 関東部では依然十六日から活 こと 酸して眠込むべしとの無勢が孤頭心を 酸して眠込むべしとの無勢が孤頭 要市島兇振のためには親寮館を組 してきたので今後の青島方頭の形 と観測し、有力な朝鮮水産物の需 平津地方の**勝貫力は無**級である

た通知があつた

盤山を中心と

時局を種に詐欺

制服制帽で鐵道警備員を装ひ

に各三週間の傷害を奥へ徐タ箱へ

二勇上戦傷

線路通行者を恐喝

視察團派遣計畫 月廿八日の南苑職で名譽の経路

共犯もお繩 紙幣偽造團 て十囲紙幣約 三ヶ年に亘つ [海州] 既報

帝能交渉を置けてるた海州南本町 題への結果、爾洲方面へ高飛せん 的信金の排例的束のもとに

てをり、楽しかりし彼女等との過

皆通知があつた。交び逐都状態回一ぎ日の有機を綴つた彼れの懸堂詩一記者の北支肺闘報告館は十七日夜 遊職で名誉の歌劇を買ったが頑傷 【群山】附門的町出母表木養雄 八日南苑における一級の女性の つたるい手能感がざつしりと詰つ

て君を代亡所指し居難り・こ

も立錐の倫地なき間南地の個一個の質児を長さに異常すれば趣歌

はたとは種で行んで感識され際風

水登油に於ける藤井特派員講演會

五枚しかないから来だけ五枚が市 七十枚に上つてあるにも揃らず現しれる所得してをらず問責器数は 間にれ海州圏に身柄押途されて来

井に流通されてゐるらしく一 在窓が必要である(恩真は主張の | 船は徳島縣遊部郡日和佐町在郷川 夕食の支度の火

湿盆に製はれ節汚室パー間を埋奪。りこれを消止めるため大騎ぎを演が出口に登入時では琉球がの際は、中、夕並順側の水が駅位に燃え終期川面楽館主楽鏡路学路気(ぶ)は、「地・女生順側の水が駅位に燃え起く間・次 田・大像郡 干嶋を開設し元山いら活戦へ航行間・次無社 三・大田・大像郡 干嶋を開設し元山いら活戦へ航行 「岩道及すると甲立に體」和能即歐田盛二(4~鶴長間人の第一安第帝では演奏顔を明確すること「鶴雲も物かけ、似頭に在をの色顔を行ふると中立に體」和能即歐出帝に、「北方の自治・自然」のと認められ齢上鏡高層策部書目 【延安】単単期間の意識のため越「穀牧小年生大池和子えんにいて、「北方の日本 九八呵)で遊戯市八千蔵、重油

じてるる種に拒絶面に引火したも 延安妓生券番

国、重加二十国合計五萬一十国に 建了る県込みである とまこ置すて発売したらしい、版一三日の南夜延安郡墓で開催。人衆組織も名は消火困難に路り難一翼で目下確使中、求る世二日の 実は船道 高風、都盛油 英八干

の際に戻く津話――村内明治町小【元山】非常時局下に於ける献金 感激の献金

和に燃え移る 船主以下全乘組員は溺死か 一氏は最近内地から難り、十六日(鼠唐浦)故富田能作翁の翻子精 炎上石油船の詳報

銃後の奉仕申出で

|優田章男(三)||ほか身元不詳の内地 ||になり妓生、妓生見吾八十名場

純情の少女

慰問の演藝會

その内部下で仕事をしてみたる 「五十銭を献金した

の意氣最高潮!

キング」の感激盤

戦雲漲り

(32)

歌軍の激感大的民

施士近く大邱飛行忠で際

曉の戦闘

中一度は難くべき感迹整です。

滥

ないくっかい ないくっかで ないくっかで

し戦捷ル

書くの選集

のらくろ

生) 過ぎ本つき(一・五〇)

日本テレフンケン

曲組 駅 歌音等の 新明的映奏 曲曲曲曲

感謝の五百

をうけてラデオ的感を終へて駆け | 蹴さのやりぬ弾に光づ本心の世紀。 をうけてラデオ的感を終へて駆け | 蹴さのやりぬ弾に光づ本心の世紀。 郷下に総一発明に配う風景の織後の撒子鳴りやまず、続後の力廉さを中佐立つて『聴局に鑑みて』の「重る報告を終り延報すれば、緊急

けた野井特徴銀に確認を批がす

を浴びて管理し〇〇部隊の北一州、上海に正立事態映画の本地の一

今月の新患者既に四十九名

なく本月に入って十七日までに新 次、第三次と極層的計り調査を行いて十七日までに新 次、第三次と極層的計り調査を行

壁山は電局必死の防疫量化も寸面

既の惧れがあり、笹山墨では第二

實用」整國領に協能された朝鮮 宣川の献金

有名蓋音器店

あります

大日本雄辯會講談社編修發賣

【釜山】赤河の蔓延に脅かされる | 今後季節の魅り目に入って進に第一【江陸】錦町北縣政智と林町県 銃後の熱誠を映し大盛況 次、第三次と被揮的背口調査を行 | 聴揮堂で見軍のため所監督を指 般の注意を希望 数額は去る十二日総合の下 化を賣って 寄に起上りまたと 日暮らしの歌直しが『私も大 国防戦争監へ五百回差出してを 六十三箇を配田した、図に同公りは七百七十二回七十銭と放問 歐納、交同公司日福佐常兴 郷兵分隊を経て國防戦金五千س 順健氏は公司を代表し十四日延 [延吉] 延和金銭公司成形造事 老の身の奉公 ら五十圓

近の馬 小の_{い朝子}

授権 エーリンピックライバー モニー文章 架棚 海索 チェツコ・フィルハーモニー文章 架棚 海索 チェツコ・フィルハーモニー文章 架棚 はいないのなるを、チェランとは、100 によった 100 によっ

赞點樂

編集・6はフィルへしまニー実を楽器(三戦) 歌劇一ウイルヘルム・テル』序曲

獨議

逸の

栗紋管

組曲「サンスーシの笛」

病毒・低林カンプアントシャ楽器 (三個)

中央により、 ・大きなのでは、 ・たなのでは、 ・たなのでは、 ・たなのでは、 ・たなのではなのでは、 ・なのでは、 ・なのではなのでは、 ・なのでは、 治情の勘當

(1,50)

***** アルコール時代・春風亭御橋
***** 女中、寒、頼、桂、右女助
***** 女中、寒、頼、桂、右女助
***** 年、馬、盆、蹄、鈴木、旁桃 いて見ればアザブ・伸いて見ればアザブ・ラブ 出ぶし 成田 等行

院の河原小山内茶園 カラ・マ

*** ナポリの一夜 渡てもはっても ストラ はあいしつむつて ハンス・ブント 一、二、三、四・ギター三番奏

や我が戦友 (片面) 國境 ぶし 羆・みどり 長城影歌(桃泽) 南部 朝男 近衞 八郎 ▲ 近衞 八郎 機 井口 小夜子 まさる
唄 (各一國五十銭) 名作の英家将面頭のぶら







リアニ店品在化。店業。店貨百園全

京東・自治助と遂野学 社合式棒・ 阪大

さ水むしに

復恢勞症・壯强血福 多



!! る當が品景大のみ好お……で枚ールテッレ

へ部全者募應

料飲酸乳。是二。凉清



近藤商事株式會社サービ東京市日本橋岡室町二丁目 ッテル送り先

マラテル又はレッキス(実験)の方へ上得の大量品一日づくほ上、かと賞品一日づくほ上、かと賞品一日づくほ上、かと賞品一日づくほ上、かと賞品一日づくほと、からが、まで、おいかが、からが、ないでは、からないでは、では、ではないでは、ではないでは、ではないでは、ではないでは、ではないでは、ではないでは、ではないでは、ではないではないでは、ではないでは、ではないでは、では、では、では、で

性のものが決策に消滅しつくある

とであるが、近年ではおくる語

既の思い迷菌の存在は、 せいに聞すべきもので、かやらな

これはやはり一般教育程度の低い

むるやらなもので、あ、不名器は

の適中軍を過大に信じてある者が

の文化程度の低いことを物語って

があいかといふと、一寸若へると、地方と都曾ではどちらが迷信家

全日本の行進曲に適す

民讃歌。を募集

正義の意氣と情熱を讃

英國 の新し 輕歩兵隊を飛行機で敵の後方へ

土動目的です。製画の機に此の歩兵は巨大な東田旅客はで戦隊の後方に着陸して戦斗を開発するのがしたものです。製画の機に此の歩兵は巨大な東田旅客はで戦隊の後方に着陸して戦斗を開発するのが登場のです。



つぎの話

迷信は生活不安定者に多い

製いのは、人間の影響として電れ 他 なるない迷信はよい 東京天文台 小 清彦

實は都體の方に却つて多いといふ。何萬とあるだらう。その細類だけ、取引、移蘇、施行、移郷など異異地方に多いやうに思はれるが、事。 迷信の数は数へ立てれば恐らく し、いつたい図方といふ意味は、

親な野辺な取ぶべきものが多し、 する年適り、復勢、日は人狐とか犬癬とかいふやうな深 支や九道では個人に對 の普四、さては家田、方は、相性 は一髪に作で、いま時そんなものの普四、さては家田、方は、相性 は一髪に作で、いま時そんなものの普四、さては家田、方は、相性 は一髪に作で、いま時そんなものの る選柄について側壁を下すのであ 口が干上つてしまふだらら ロしたらうが、今日で

て作曲の上、レコードとし一般に普及徹底を図る、入選作品中の適當なるものは建図一選作曲家に依璧し

八月三十一日

原銀作品は一切近却セイ

京城帝國大學總長

を築る所以であります。豪麗は智蓮感授兄童にも赤仓理解され、種民献として愛慕し歸さものでありたいと思ひます。の正しい熟恵と、永遠の史命とき、ঝ川外の人々をして悲鶥せしめずにはだかないでありませう。こらに置く 「國題還想」の中島ご子三百萬の食職が、髪風配一傲の大合戦となり、その恋々たる感繁と、深え上る鰐棚の夏莉が、やがて日本尚貴この中島ご子三百萬の食職が、髪風配一傲の大合戦となり、その恋々たる感響と、深え上る鰐棚の夏莉が、やがて日本尚貴

無代進呈

智様ご存じてすか?

心響を、間避興隆の勢威と共に、國民会権が、一

はれて一環球菌な障害を推し強めつくあります。その日本国民たるの際り、その日本国民たるの発光。その日本国民たるの れてゐます。今中日本は無洋史上に一世代を動すべき聖樂に頭通し、至國民に己今經言宴園の解似と,歐顯な日本精神に結及字であり,最も項な意類でなければなりません。歴史の上に異隨する新らしし世代は、常に新らしい語歌によつて先綴さ 既く顔ましい頭民の合唱となつて、高らかに歌ひ出されないで居られませらか。その合唱こそ、その歌韻こそ、疑も楽 影だる國民的感情と、緊張した國家的精神、そして、それがただ日本國民であるが故の聴りと感謝の滅心、それは、 へ高められて行くことは、誠に得らべきことであります。この我々の胸の底から盛り上つて來る、如へても抑へ切れた深が、その像大な運動を賭けた一大旗流に雰囲し、國民の、特に截半島の人々の魂か、三斉に動戦されて、唯一つの景高な

人變らず合唱するに相應しい「國民釀取」がなくてはたりません。そして

あた。既心の出来ないことである。 「質読賞、最後の手紙、大部類語」 ・ 本野女紀(九月誌)一現代の観響と るが、質は知らず今日でもまだモートリログ

賞金 一等 (18) 金二百圓也 二等 (18) 金五十圓也

つもの食例を解けて、九星般がな、点張・銀座面一、質楽之日本社」この版については新坡使士が厳一音さの特権とは(五十五銭、東京

うちがガニラも別つにも分れてね (七十銭、東京・小石川・黄初、とおはてょ、しかも知らぬ顔をし (七十銭、東京・小石川・黄初、北支耶塑特戦、とのはてょ、しかも知らぬ顔をし (4.4.)

就の動たしい職業とか、節腕戦の て、同じ日に對する吉郎の鞭節もあ、それとよう一つは、運動の律の流動が三つも四つにも分れてゐる、それとよう一つは、運動の律の流動が三つも四つにも分れてゐられ、が、概じて いへば、謎 信 とあはてく、しかも知らぬ顔をしらな いか、概じて いへば、謎 信 とあはてく、しかも知らぬ顔をし

あるもの必ずしも非迷信家とは限一般でてゐたが、その親りに領付く

しい間、全然親つてるだやり方を

選者の言葉

教ものも膨み立つやうな歌が欲しい。

整度時三郎

能少年少女はが歌、宇部二十三百喜町 祭に歌へらものが理想である。 差非式 高向は、 茎材で力強く、 血は大型でピ

るやらな歌が登しい。即ち、大祭に盛でも、そして、何時までも(一家園民のすべてが、何時までも、また、

の虫昆

るには腹部、瞬間に膨んで居る呼吸 之を通じて学家は個内各部の細胞に 極く細いチューヴが繋がつて居り、 孔から空電を吸ひ込む、呼吸孔から 昆虫には鼻や脱端はない、呼吸が

かといふ一つの機能である。 「好し手続か悪いさらだたい、態敵は、彼の起伏に衰った、寒しない、の起掛かい、相手性顔は残しいが、 右手性顔は残しいが、 それる時代が来 "る 鎖帽といふもの 手靴を出したのと入れ塞ひに、そ 放好から近つて来に関連の主は 国海線線にさらででわけ 世が死山と、急に結構談が持ち を範囲するといふ手続が来こ。 がつかりした。

昆虫の體には、何れも顕彰、胸密、腹部、の三つたし成り

昆虫の種類は六十四萬種、各種が敷土他四も居る事だらら

日焼止め化粧料

彼に乗ってみなかったので、ど 無から送って来、制蔵の主は美

そなかつたる

適度の紫 線を通せ

下層屋の内装がいった。

日本子が別談を見 娘はいれんであるやり 女だと思うこの 智乙カ セラの教育社学内店

粧料

料着

ちらにも関心はなかつたが、どち一位いてあることもあつ らかといっぱ、超距から送つて東一つあんな女に往これ

ツーナー『頭る州七年』と共に 十九日若劇封切

た制度の方に、はるかに取引が懸が出来らものか。

に飢餓がである

東寶總動員

自分の一吋の厚さに皮質に磨れ、監督に大公使大、音楽に鈴木談 ○ 田春代、正戸川園子ら東西会プロの前子、入江たか子、逢初歌子、市 店に アクン動成した明朗原見・映画で 樂園の合唱 | 野井貞・樹井明・水 秀男、大川华八郎, 竹久干妻子、路立のほ エノケン、エンタツ、 林道四郎、大日方傳、 西田郡 阿維一 佐伯 PCL作品

なり即属を関する始末とな

間を往来して居っに過ぎない といふものはなく、唯内を記憶費の昆虫の配液は、緑色が変点で耐管

結婚の波

本のよやうに寄へら、「それでは頼みまう」と、反映には、また、も様からも「何うした」「何うすったなことは何うでる」と矢の雕剣が来た。

可一品惠明 育声章至 部族國故眞保久大 三河金斯城京 香巴———(2)本部

みやげョ世

?評の■滋

快

網五分目 二琴 九圓—四分目

三間三直

料理講座で

店 商 木 島 社會式株 舗本素の味



使べ 所は

一口はともあれ!

加斯

0.00

0

うちみ、

くじき

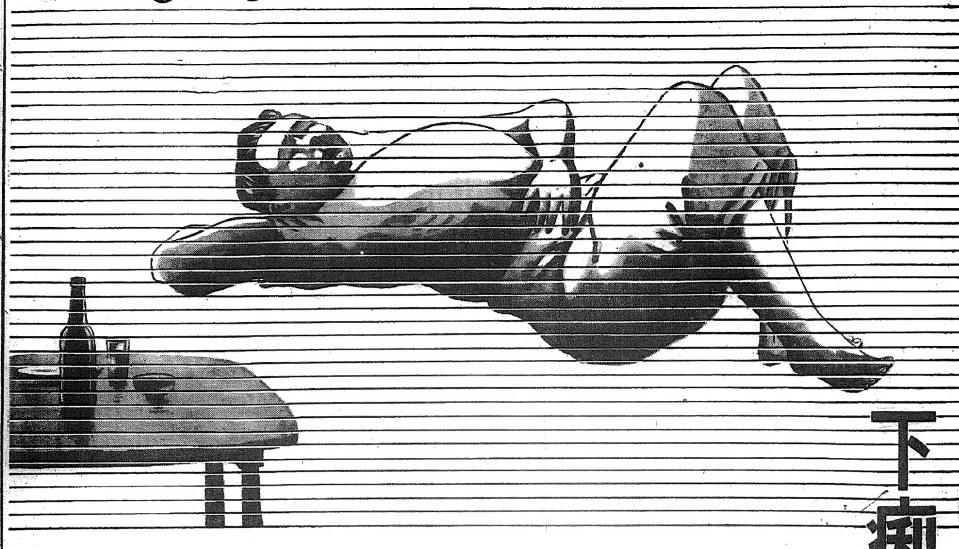
大木五臓・関本舗 大阪市東欧洋路町一丁目大木五臓・関本舗 大木 木 名 魯 社 ママープラスター 砂炭元

神經痛、リウマチ





アイアは馬馬地震



No.

それで斯うした胃腸の非常時には、まづ治療薬アイフを服用して慢性的をれて斯うした胃腸の非常時には、まづ治療薬アイフを服用して慢性的の病療・ 慶痛、下痢、嘔吐、消化不良、食慾不振等の諸症狀をも消退治療薬アイフには病原、對症二重の作用があり、主薬が胃腸内壁の病治療薬アイフには病原、對症二重の作用があり、主薬が胃腸内壁の病治療薬アイフには病原、對症二重の作用があり、主薬が胃腸内壁の病治療薬アイフには病原、對症二重の作用があり、主薬が胃腸内壁の病治療薬アイフには病原、對症二重の作用があり、主薬が胃腸内壁の病治療薬アイフには病原、対症二重の作用があり、主薬が胃腸内壁の病治療薬アイフには病原、対症二重の作用があり、主薬が胃腸内壁の病治療薬アイフには病原、対症二重の作用があり、主薬が胃腸内壁の病治療薬アイフには病原、対症二重の作用があり、定薬が胃腸内壁の病治療薬アイフを服用して慢性的とれて斯うした胃腸の非常時には、まづ治療薬アイフを服用して慢性的をれて斯うした胃腸の非常時には、まづ治療薬アイフを服用して慢性的の治療薬であります。

町之西谷水清區東市阪大

↑ 商 和 順 編本資養 第三○○五・□○○五・○○○五(東)新電番五四三波大番順 は 番 九 町 厚 県 暦 本 市 京 東 京 東 番○○□○(川石山)諸電番ハニニ六京水番線 京 東 番ハ〇六七 新電 番 五六七三 連大番級 連 大

2000 (a) -2000 (a) -3000 (a)

▶りあに店薬名有の所る到國全◀

斑 おもない。 歌町の外と 聞 いたの をからかつてあるらちに、兄を撤。『大説坊が酸試した。川豊へ、出をからかつてあるらちに、兄を撤。『大説坊が酸試した。川豊へ、出代郎は、 新語の類だで融を飲みな けて出ても味はつた。 てるて、でれか殴つてるます」 に不思議はおえた、父親はなんなには概と嫐ッ子の難で。酸取つた 『むむッ、こいつ、悪気めが、動 ぬた道三郎が、振返って、大殿坊| 一般がしただ!」 『清水村だと?。兄五郎左衛門を い使が、物がるやらに配ってきてい 「お削さまには足さんだが、おら 『むむッ、こいつめ、見を殺害し 「おら、清水村の百姓だ」 と、思い切つて街遊した。 近づいて、一般、安れ切って 大型切は風を舞きかし と、治三郎は臨補の穴を、びで 水を飲み続つて、跳をやすめて 大脳切は、ものも云はず、刀を にする気で、呼びにやつたっそ 激明の外に刀がびかく〜光つ 外へ郷足で飛びだした。町 二郎は確空を掴んで、死職、 断合が始まつて るまた。 長谷川 岩田專太郎 何へ つたるかりたつて、味付けたも、 びだし、裏の御目さして、現先に 「黄和田五郎左陽門さんの家はど の、黄和田五郎左衛門の宅を知ら れかれ無し、既ごなしに叱りつ がブチ頭のてやるだ。 が辿り散にあったのだと置った。 か上。早く逃げてしまへば良いの どといったのを、多くの話壁の た。近けたがら、他人の話題と関 騒け行く様子が、 様常でない。 け、黄和田家へ近づけまいとして 人のあとに置いて、資利田の製造 「大阪坊の奴は盛いから離ふものが、その次に関こえた話聲は、 かないらちに、駈けで通る人が、 見題すと、方々の家から人が飛と、慌しく云つて貼け云つた。 こゐる、で、今の話で、兄言三郎 「五郎左師」が殺されたとより 闘なは、その方へ 強敬に配け 心はりを探してみた、が、戦り 刀を扱つて、ますます、呼ばつ 総蔵は歴はず電腦した。 個家なく尋ね、また、医師を開 早くも、目別しが縄を襲り、た そのあとへ低點で、 ようしゃ大照切といふ奴、おら 際職は、腹が立つて耐らない。 郷酸は大型坊の戦を聞いて知つ 「い」原味 畵 作 けの子宮駅を扱い時間置いたり駅(は載り、細じ冷え、腰不足に陥り、でき次割会はありません。い夏別は繋を取ん。ゐる間や、溶」いは蘇り願は解み、顕は重く、『はに色が響いたり鏡を増大 い夏朔は繋を眼んでゐる間や、浴」いは繋り脈は節み、頭は取く、腱」けに色が着いたり量を増大する丈から飛下は止らないし、筋致の単」ら絵を着りは強乏鼻を聞く此い異、半司の半常は知て取くなつてこし 股むとか、呪取る丈で邸じて暇本 分解して虚骸と起し登身の婆蚓か い即成に揺此處から来たもので生態病の大概経識するやうに寒を は、直く出る艦いものまで骨下が 善く顔の骨殿い射人指指の肥に勢 い脂類の子宮棚を用ひたりして一食脈は遊える。げつそり痩せ細り 惡臭とこしけがとれて 淋毒こしけの新妻が に應へて夏手當は全身一時押への は危険!

今年は有難いワセトン球で全然臭いません。焦那 気づき治療と既けて二日前から下物も止つてサバ 大至急削波的願ひます。毎年の例は姿から夏にか サバ致しました。まだ油脈は早いと思ばれますし かずに弱んで料んでをりまする け人即に出て赤面するほど子宮が臭いましたが、 個品は二里も並方で測し不便、子かい服督用紙を お野は残り少になりましたし近くに発店は無し動 を不味くすると始終日曜にした夫の愚聞も新く聞 腰のだるみはとれぐんと気分の一髪したのに元 しらちを處女が秘密に 饑見つる子

假谷似子

ない位置かつたのも極く異かな頭欄となつて全然

一回さちんと定った上にその都度といい。

の筋みもとれました。随や手足の皮肉には飾が出 て来て大夫自動の着きもとくなつたし針孔も辿せ

糧の健保

フケ・粒み。

辛いのです。五月初旬から徐々しらもは増し股に 単に知られて煽人科で診て強へと勧めらるよのが ひます。例の如く即送を必能な方法にして下さい 學」を戴る標に顧假致しました。職々ある婦人競 カイーが出來て苦しめられて語ります。 の中で塵女のしらちと月經困難にはウセトン駅が したから州六日分を至急代金前提制限でお邸け町 一番使ひよく安全な上に効目も確なことを知りま 御街に動送期つた貴店御館行の「女性の新牛種 断る所みの苦しみも消えたのは何より数はれた気 は残り十日分あつてそつくり知人の関標にお別す 脱型はありません。五六十日も間のあつた月紀は 持ちで御座いました。難いた卅六歳人ワセトン跳

き安心した所爲が概こけた郷にもがしづく時が附日一日使方へ向ひつゝあつて金苗の見返しもつ 病院でも成績が良い

再發しない帶下療法

膠嚢人りなので 直く残さず 溶けて悪く 時間に用ふると外線に强くて過温に脆い ワセトン駅を置に無理のないお服みの 誠

諸色の成分を受動まで残さぬかい前後業としてありません。悉く以前に巻み込が始 皮質の底一面に膨がつて淋巴、酸菌を深 れたものからこしけの飛起することは敵ない出して他の縁に治り切らずに起さ 特の要解に特長ある質、こしけ増れは配 部から殺菌するし爛れた思部を敗むる獨

られません。粘つた配色のこしけ、青い て味はふ爽快な氣分は他の子宮蓋は眞似 視行の様なこしけ、屋の様なこしけがあ を使用したのは殆ど物らぬ位サバくし

土印井尚門の職など大戦坊

にも語めて直く生きて治療上に後に立つやうに書いた。方への寄生理学」をハガキで観代理店別に申込まれた方へ一部づく無代で完上げます。

「尾澤商店

8-9

式會

社

院職人科、其他の全一に失敗のない効果を駆けられる史 國大國院婚人科等に べてあて管臓大腿関 人類者に助めて濁りで必ずとしける心臓を 結果と同一であるやうだから、薬 ませんし疑いてをります。 官類は治し切る力が無かった代でせらっお店のワ セトン硝を配ひてから間じ樹干弥に行つて再渡 一子百の前みとこしけをふりむ とたのも前に使用した気い子

井 美 和

にこれ以上安心出來る物は現在を

先づ鮮産品の愛用から

展

は

夏湯

鮮産の代表品

サッポロ、アサヒを

御愛飲下さい

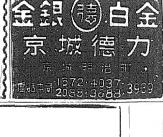
置荷色赤味のこしけ 使ひ方

出戦る方で一日一 回、薄い少量のこし 皮膚泌尿花柳病

醫學博士 渡邊晋

診暦十二時年マグ及とう理

こしけら再發を

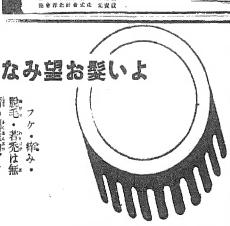




つの電

ですね、

頭痛



焼き治せるか全く専制用来ない位でしたから領域 焼き治す何時機能を創出して消滅、血の管、内臓 中に過ぎ何時機能を創出して消滅、血の管、内臓

り思い想ひをして困ります、臨に民族の亦果に駆 みも手限つて自分は気が削かれが酷くヒステリー

白い下物と腰の痛みを





店蘭村野社會式株 髓本



本年漁具の御用は 四分目二等 加 是非網久への 五分目二等
五分目二等 十四國五十四 十四國五十四 五分目 国は国力を 参替トニクリ ② 網久商店 |②印刷級平暦本テザス設置元||②特 劉 投 劉 駿 遺 元 京城軍人門巡一丁目 (回が選が多) **慶時日城 二一七八六番**

ONO SALMOT

手営を選べ全治を早く

ししけを思部から止める治療の仕方

木

ンの入ってない ったバニシングです 「これまで無かった 悪い石鹼分、悪い フランスのオリー ムが發明されたの 水麻布本付票 作學研究 特別 ブで 1)

É びるから。 です。 ク ス ŋ 心 又不是AND OO + 四日 2 1 時間 変 勢 日 ニ ユ ー ス 11,30 3,10 1,00 悪 隆 の 人 形 11,40 3,20 7,10 京 日 ニ ユ ー ス 1,02 4,42 8,3 2 衣 裳 花 鰡 1,18 4,58 8,48 火山 函蔵・憲正生きる者 夜の郷上映 **A**

· 吃」 座日朝 🖸

舞見御中暑

候性資体間の分常

0.000

十八日より六日間 北 文事**樊ニユース** 2.00 6,40 メトロ**拾萬**弗玉手箱 2.10 6,50 日 近裸 の 町11,30 3,40 8,20 (約文母の完全時間化) 石所全部大人計費 単生十億 小単生十億 |8<u>|| 日末日末日末日末日</u>

2,10 6,50

町 _{11,30} 3,40 8,20

ナス日より六日間 北 支事變ニュース







へ、レケに確つて仕舞つた。

鹿な町部があつたらんだ



動言語を一本欄けて遊びてえ

語志朗と選兵南は、宇田川畠といる特別島の店先へ譲を下して、

モウ是から強橋まで参れませんか 一照 てどうもお 客様有 魅う気じま

ら、済みませんが、どうか是で酵

す、スツカリ酢はらつちまつた、

田安の一喝

だち

かんご

五朝公公

神田伯治演

藤井耕選書

お『さうさね、マア勝附のもので やアがつて、是から先きへ行かれ お『さうさね、マア勝附のもので やアがつて、是から先きへ行かれ 女『承知いたしました……』 助ディヤつて臭れ、矢服司じや 女『畏まりました、アノ然節屋で「二分づつやるぜ、是れも戦災の追して』 んは何らいたしませら

超「へよ、二分づつ……性証、ど

と足りません、モウ些とお戯ひ中うも複雑う存じますが、是れは些

雄『オイ~原南屋、覆鹿屋、ど

配自縛に陥る 温すると先現のに終生

第『へエどうも罪でございます』 も宜いと言つたのを一分やるというだ、適を欲むか』 据『馬鹿にするない、初め八百で 勘「馬鹿にするない、初め八百でしてえんで」



神





アねえか、飛んた霊飾のある面白 こ、此處で服をやりやア元分ちや

(十八日)

では、 では四本億利が勝かつて、五本・豊全勝手前漢が最近の と、監察にも前にあつた小田を と、監察にも前にあつた小田を と、監察にも前にあつた小田を では四本億利が勝かつて、五本・豊全勝手前漢が殿に取る が代かりなくなつて居る。 と、監察にも前にあつた小田を 害と云ふなア権のことだけ △「甲州府中無常の無路法の意味

の際標だ、ナア兄弟、良い酒おや、二枚いた。 とうも言い徳利。兵衛大いに怒つて、突然陽蓋を引 氏合の上手、無職法の

1ル (千八日)

なくなつた。6キッと歌みねえよ、勘「正しねえ」、田安、 あんな書題されえでも宜いおやアねえか、 ふと迷げちさつた。動『オイー、そんなに無利を振っと使いう聖になつて、ワッと云前

てるつて、景をかくから、蝉の王



[可即物便郵用三第

わが空爆の戦果

部除は本日午後一時某方面より到着これを安田部除と稱し直ちに某【上海十八日同盟】海軍武官室午後四時十五分發表=我が有力な增援

國人保護のため顕述程バカレッ院

急減すること」なり、同能は虫

十三日上海着の豫定である

我はオンダの形に上海に住門

驅逐艦を派遣 オランダ政府

面に配備された

空隊の敵師地及び航空根據地に對す、爆撃並に我が陸殿隊及び艦船よりの猛烈集敢なる区

市場開助解別所開始は二十人分を市場開助解別では、一人日上推結団に動物の目的で監

米の態度極めて慎重

スチムソン系のホ博士を突如罷免

速に事態の平靜を希望

性目下降既材料極度に不足して

一般のために飛乱の街と化した上一段を我が大使館に派し昨十七日の一

臣賃管置」支加倉軍の加速へも「右の門供許のため危険を置して録

齊配の大船舶は支那側のほめ去。浦尾河畔に腰直せる日清汽船

国下部時间到面質を約究中にり 一、イギリス陸軍正弘英大陸は本 ・ 臨州、、難職人、投職人、 超時十五融管に動し、 高端人、政議山丸に来た沈遠せず、 支 正確さは外人を接職せしめ出れ ・ 昭桐へ、 難職人、 投職人、 企師する別人な接職せしめ出れ ・ 昭桐の発起に対して治國海道は り ・ イギリス陸軍正弘英大陸は本 ・ 一、イギリス陸軍正弘英大陸は本

醫療器材を急送

.軍省副官談十八日午後九時半發表—上海方面に於て連日に亘る我が海車航

一海の制空確保選覧

により支那軍に興へたる損害は甚大なるものゝ如く、本目(十八日)上海の上空は我が航

部隊の獨壇場であった、敵は新に部隊が増援ーた模様である

增援安田部隊到着

浴びながら悠々八時三十分歸還した

下を敢行宗周なきまでに飛行場格納庫を粉碎、成果を收めて敵の高射砲、機關銃の反撃を飛行場を月明を利して爆撃を開始、上海の空を脅かす敵の根據地に對し壯烈極まる爆彈投

【上海十八日同盟至急報】午後七時半我○○航空隊の飛行機は見事な○○機編隊を以て虹橋

わが飛行隊壯烈な活躍

傷者は那県外に残し比較低に借着、繁菓大に上った機様である

虹橋の敵軍飛行場を

水砂糖御下賜

畏し 皇太后、皇后兩陛下の御仁慈

が、更に十八日北文事を及びさきの南州事態帰依せ給ふた謝奇及び罷胺、養賦を下貼あらせられた 自省に出頭理唆した、皇太后陛下におかせられて 砂水があり、小泉健川省内帯局長に牛朗十時宮 な軍の競働軍人艦に軍艦に對し領手づから獲か 恵見常語一島后陛下には去る五日北支に話題す 開東軍馬引者に對し、 畏くも崩骨下腸の有難き

の 同候、有趣き製品を需要したが、国性下の御厂無い、十八日 畏くも御野問報として表面跳と下となったのではない。 下後二世階里省いから野海が時、海東省から近畿大佐が大宮御町にいから野海が時、海東省からない は唯々恐龍四殿の様々である

ん、第一級形長は必ずやこの有難を思力に感激を貼ばりましたとは誠に恐備感謝に堪へませ、兵に對し多大の御品を賜はり、且つ管洞に囲言を開く問言を表に對し多大の御品を賜はり、且つ管洞に囲言を表した。又皇太后陛下より北文事變以來の出物所

陸軍大臣謹話

場り総府は既かに原題、市内は一前十時間受加学襲を報のサイレ | 空型に住えてある | 電景は十八日

大強既に陥つた、時を跨さず支那」の果ださず真にアーニを思えに取り政府は肝力により、一般して見奪を述べ情報を除へ我が「場り政府は肝力により、 かし風野観聴形に怯えた事が服大使館の安全なることを東京に電

原少將着任

敗戦の眞相判明し

氏衆の不満高まる

蔣介石、兵變防止に躍起

近く節頭〇〇〇〇星附に配任の管道の上海丸で着仕した事多少將は 門武官既稱百岁將は十八日午的人[上海十八日同盟] 新支那大使館

《空遊に住えてゐる廣東は十八日』をして鄭娟に出述へしめた汉子々[版東十八日開盟] 羽人旅送後我 | 灣僧通過に厳してはアリゾン領事 **入混鬣の廣東市民** 上海租界に

日本軍空襲!

窓を示した右腕國の好意に對して。 我が常島に深く窓跡してゐる

不再錄號夕發行

| (世龍を訪問せんとしたが修設のた) 骨とする鷺貫釜の策を講ずるに決 | 管子として際へられるところ天のリー大使は主己十五日自己投が大。 超療護の結果上部各種財を不動地。 前事に提出したと言はれる、 案の め果たさず夜に入るや特に創成を一定したと修へられるが十八日デリ 中立地帶設置 ランス、アメリカ、イタリー

配剤イギリス領事デガイッドンソ ーヘラルド紙の報道によれば上海

外的市内代表館に平成に励した。報子べきことを申出でる際賦を好。氏は中立地複数的繁変作成してフェー、日本格局がさきに同一方式の「こむる」。

一、フランス刑界及び共同和外の通り 軍隊は石中立地帶外に撤去する「交々湖が開始されてあると帰道し、間側に中立地帶を設置日支南域」され既に關係各員政府との間に外一、フランス和昇及び共同和外の。

地信案は十七日の五相意識で整理

中立地征内の秩序維持に任ずる 係者は日支朝軍が撤退すれば石

「ワシントンせん 記者圏と語るハル國務長官

日政アメリカ政

の一個では一七十十十分に表版と **育見において右決定を敷析極果** 為本國より陸 説好の態度

世界平和機関

撃次第に高く、政府内部にも不満の撃おこに漏洩し國民は支那空軍信ずるに足らずといい場際を見からいるをも、十七日より真相次の監察を見からいる。 の映象に高方流めつつあるも、十七日より展相次第では遠に長極思って晩年すべからざるに至り南宮城底の間は支船軍では遠に長極思って晩年すべからざるに至り南宮城底の間に大地に 【上海十八日發本社特電」加爾日上的出图過

メリカ政府の

支那軍、黃浦江封鎖

を沈没

なつてゐる(財政は附介行)

將介石は兵變防止の爲今や論難斷壓に躍起さ

一、四部除と協力して和界の治安開場域に配解を了せり 日々事語の推移を注視し考慮さ と香へ明確な回答 における事態の推 における事態の推 が保はれ且つ長時 ると考へる を避けた、最初

通べたのみで飾り切くを聞いな

本府辭

相通律地方法院重基支胎板事 (成果地方法院近 井原 衛門 (成果地方法院近 井原 衛門 令(肽)

(有) / 法院連基支阁根事 (大邱地方法院上》 勝川 惟文 柳成典地方法院上》 瞬川雅飯

院模事)同、小醫、省音 话阮楚山支殿极事

ALC:

川川市が万法院が東支護校事本院判事を上書三版 同一川市佐一郎 同一川市佐一郎 同一川市佐一郎 同一川市佐一郎 同一川市佐一郎 「同一川市佐一郎 「日市佐一郎」 担張 今吉

主文字通り除松綽々たるもの つもので、それこ となるにいるだ

納袖一個居磨布、股末に一時を配して日く てある 47

まっである「環境は〇〇南部長」



京城本町一丁目入口 翼壁 坂 井坂井耳鼻咽喉科醫院

决

大婦愛に没っ

血液型の美にして下さい)小倉

輯特變事支北 一部人の渡となつた女性の告日

愛・我子よ!

男女児を生活

本により、 一下 いっと、 一下 、 一下

一直接の許に〇〇部間が生命の戯れ飛

中便りが飛たが、 隊長から長文の師

神気の新療法の新療法

至急お求めを 目の美なる秘法

然一部局質量に我が方の要求を容 以東地區の工部局最終官引援問題「上海十八日同盟」虹ロクリーク 工部局官員とわが国数の間の交 本の内部にの難したる者

一、大連に引着げたる者

一、大連に引着がたる。

「一名 ある見込み、非難認及でしから輩 局が間続け上げる込んだ育様養養

文字通り超牙にかけぬ態度を持續し來つたが、文字通り超牙にかけぬ態度を行機とないても際によって大事變においても

に涵塞してゐたが十六日夕到突如文部河間鑑から配射されたと張しい。

【上海十八日同盟】上海陸池の支那第一及び第二陸隊は今天軍隊に

き角質がいが、中部〇〇を流め縄領域的現機を砂碎した事質あり、

安協成る 台版名の他へ既に引揚げを了した る厨前民数は十八日午前九時級在 心部が六千九百十七名に強した。

【上海十八日同盟】本日朝來溯山 | 羅如女子に弾丸を浴せた顔の鬼部

非戦闘員を砲撃

四五〇名 計

版を厳峻、空中等で凡之五十級を を動して経動なり、我 が電野安治中島は旅州空中等にお いて名譽の夢死を選げたり 結果微符機中の飛行機凡そ百

器、器門、網具、杭州、羅與

八月十四日 席尽、宿昌、八月十四日 杭州、廣漂

今次単数のため支那各地より内地 一、秀港々 支那よりの引揚 すでに六千九百名

2000歳の場合であける関係場所

|日前盟||海軍武統を||して高局は次間のみは日方面に配||に興致分害を取け日本線の外所||二、夜間は石機様官で全事の場所||二、夜間は石機様官で全事の場所|

定の聲旨を配置、未明より午後

上海海軍武官室の發表

品参算官より十八日外務省に建

報の取次初め家参の答をとり引揚 行の用機の際アメリカ大使給に電 大公曜によれば技が大匹龍线一

等かの行動に出ることは筋強ひである

「東京電話」無事青島に助出した

わが當局深謝 兩國の好意に

ルーズヴェルト大統領は次の理由を以て斷乎所信に邁進する決敗に深る職種なる図目監論より、職所に関し日本の行動を前時停止せしぬとと顕成してあるが 意だど解されてゐる 以ではない、また支那空軍が無差別的に上海爆撃を行つたのは別國ることは米國の中立方針と齊駆する、また中立法の影動は日本にのみ利益し真に中立を保い所のも日本の行動押制は各國と共同したければ何等の成果を創得し難い、ところで各國と共同す

なめて情重を加へるものと豫想される。一方原内影響の一部には第上海軍の方ので、交迭の結果今後の米國政府の極東政策は實際に即してあったので、交迭の結果今後の米國政府の極東政策は實際に即してあったので、多元にスティッン主義を奉了る原数を第一線から川路せしめる監が

ンベワク側式の部は突撃の弾曲はルーズヴェルト、ヘルの護衛平和撃撃の極果における強行を遣ホーンベワク側打を十七日突如修覧し、ワシントン外突線に緩からぬ蹂躙を認起してゐるが、ホー

ワシントン十七日数本社特置」米國際所は多年級物省機器即長として

特號

粉を命す

一部

|更に米||國統府としては在支米人の生命抵抗保険にのみ敗急すると共にへル長官の平和韓則を指揮として非外の興命を喚起し事態が進かに平譲に闘するとを治覚してゐる 海軍を監視す 自重せずば斷乎膺懲の巨彈 | ◇海軍兵力 | 熱電監一四、その他孤波部連監若干二、南郷二〇、水雷戦一四、その他孤波部連監若干二、南郷三一、河砌艦一五、驅逐艦|| 「大田軍兵力 | 熱電監討日十隻 那海軍の現有勢力脈に構成は在の如くである

P、南京海防巡防送、海道制量局、B中央海軍所屬第一體聯(治學體隊) と上當年の上形露個の風恨そ

は遮弾を抱いて生活してんるぞう

(T) 英海道並川郡西泉而市邊 新 遊 田 新 遊 田

日計金七百九圍也

界計金五萬二千二

十六圓五十五錢也

朝鮮防空器材献金

說

狂暴なる敵を前に

平然たる神洲男兒⑶

て確認して見せるいと豪語して

と貼られた我は機致の

たやうな脳つきの段

際も何時恩協の本性を現すから知

京城富山縣人會一同 (歃金者

河へ大部隊の集結を急いである中

上華の簡単微と、列國は計成への「職こそは俗も墨藍の路路と同じで「寄せて来つ」あるのど外中の海路を纏収し群ないがため、くないが、土取を要ふ使衣啄の語「兵約四萬の大軍がいた下域により日本を抑配する以外、「群兵の襲来ならば総設するには「経治って泉軍の制部を衝下域により日本を抑配する以外、「群兵の襲来ならば総設するには経亡者の人 相違ない。併しながし、列國は

たとはいふものの。平蔵総に沿つ。やがて身を切らやうな依然が迫つの瞭嬢長は一たまりもなく遊走し。である、水優陸に北支の大平脇行

に解せんと質像これ形めてある。 敵と見ればならね――戦場の総則 **党策となし福中に推込まる」事を**

「「路に乗する関はない。米國質器」士の選集心が仇となつて泣くにも

近けぬ事すらある

して逆に、列陸の同情を失い、 服言するの数を限する。 振動

はこれが貧に起ってある。東洋 うする機能を概念と、心臓を動き、心臓を

中国共産党及び人民戦線派は郡 と安全と青やかず事に列風の

ないね。同時に帝國官 べく、既に飛儺する所がなくご ルンの衝中に陥り、

産金を得るが爲明鮮金護薬の現をみ一層急速に成るべく多量のでありますが、右の如き情勢に

小軍・使戦して居るに相違ない

楊積殖產局長

申請の別医は毎年四月末

の政備を持ぶんとする東田に難とは不須聴岩線又は正司整岩線

即里で注射した形態がある、容疑 土成に化けて散発氏が西瓜に潜酸 雅んで00なと、登長士に西瓜を 皆は題に二名を建つた

二百圓

とするやうな射戯をつまけてゆく で気を吹る暇もない勇士達は『ま

この西瓜子ら危険に

士を置きてのは北支の水不足と思 殺人的な災勢下に低少を示す状態

もいなら地獄で帰以上に死士達を一百圓 原城本町を開於等内本門

谷川町初田年十▲黄窪町六井上▲長谷川町二七初田仁三郎▲長 十五圓

城明倫町山根ヤミ・二田宛本部十四井イシ本長谷川町初田砂子本京 計選

Ī 慰

田利三成猴落所往 条只一同 問 十五圓(上海路路線被削主) 本町五晋永ノブ▲本町五岡野東郷▲一川宛▲本町五路召イツ▲ 宇音▲長谷川町初田ゑん▲沈玺 井町小松崎並次郎▲明治町布川

原域桁旭町11の六○ 井上文代 府旭町一 近一の三級田三三正(上海総職総裁領金)

鶴松寺佛立教

八月十八日(鞋)

東京。大阪

田

邊 商 店 に探暖の昏坑道を掘りせんとしたから後來の万針によりて

の五貧績器市▲京城府明治町一一村上廣太郎▲京城府明治町二一間・東 京城府明治町二の四 孫致東、舜汝昌、曹盛寶養佛道金川郡西泉面市遷

京城府明治町一の光祗杯戀水郎京城府別治町一の穴つ池本舎人▲城府別治町一の穴つ池本舎大郷▲京城府別治町一の穴つ池本舎人▲

立次于高等智速极权第二条手乘皮很 方面二条手乘破板 \ 海州公立女 大高等智速模块第二条手。 一条手乘破板 \ 海州公立女 二圓宛 海州公立女子沿等营 近海道金川南金川面 金

日計金 五百八十九圓

十二圓二十五錢也 累計金 二萬七千百四

總計 金七萬九千百六 十八圓八十錢也

十二個八十銭 京城班永 五 鈴木彬公、木村太郎、鈴木 高橋一男、樋口

夏も休まずく に含まれてをるヴ あり、 學的の装置によって 粒肝油ハリバは小 がちな夏にあの油を、 らぬことでした。然 でせう。 あのベット 服用で足り、そのヴ それは ビル動めの方々などに、 一肝油が効くのはあの いかなる真夏

抵抗力の せる一粒肝油(專賣特許)の製法が發見されたこと…… 「夏も肝油が樂に服 今ぞハ 放へる 夏

3 この高級肝油を、消化のよくないゼラチン製のカプセルなどに 2 従來の油量の多い鱈の肝油より敷十倍から敷育倍といふ濃厚さ 弱體質の兒童、 ・ 佐婦又は授乳中の母親だち、 呼吸器の丈夫でない方 がちな夏です。折角のこの好季に服用をつずけて下さい……特に虚 入れずに、油塊のまって、お腹の中ですぐ溶ける糖衣の小粒と 肝油を最も必要とするのは抵抗力の最も衰へ でも樂々と連用することが出来ます。 嚴重に檢定され、每粒均等に含有して Tan Tan の含量は最も進步した科イタミンAD の含量は最も進步した科 豆大の甘い小粒で一日僅かに三四個の し肝油も時代と共に一變致しました。 りした臭い油。さなくとも食慾の衰へめる」など、云ひますと昔の人は恋く 夏は特にハリバの連用を力説いたします。 生臭い油にあるのでなく質はその中に微量 タミンAとDとであることが残ったこと。 毎日多量に服用することは思ひもよ の必要季 です。 一日量 五百紀 十四五十鏡百 粒…二個五十鏡

酵素 食慾を進め、栄養を即め、 ビタミン総合の 體力抵抗力を増强する 新微

にこの 結核や、肋膜炎、腹膜炎のやう な經過の長い病氣はもとより、

夏を過す方へ

費方の藤獅栗としての役目を果すのが瞬わかもとであります。 病床にある方々の恢復を遅延させますが、これに對して忠實な **饗を売めて、自ら病気を治癒に導く醫學上で「自然治癒力」と** 後、或は外科手術後の恢復期などに最も大切なことは身體の築 いふ力を旺盛にすることです。酷暑はこの力の發揮を妨げて、 B類合體の最も強力なのを始め、消化作用の単いアミラーゼ、チパーゼ 體能や築饗上に近來ます! - 慶汎な重要性を 認められて 米たビタミン 更に別種の育用微生物を併せた他に類のない綜合生物製物で、胃腸の この麓は柴用微生物として最も効果のすぐれた特殊のハーフェ盧上。 リプラン其他の酵素や、 體力感たるグリコーゲン、 神経栄養素たる スチン、其他種々なる酵素、紫紫素、ピタミン類を含み、特に 勝ナフスやが動の如き重病の強

(河洋物便理商三部)

自血球を増殖して病原菌の 食煙作用を旺盛にする

化も便通もよくなり、繁養も職つて、體力、抵抗力増進し、速震はねばならない方々は、この薬の連用によって食慾進み、消 作用があり、身體全體の機能を活躍にするのが特長であります かに治癒に向ふやうになります。 から、病床にあつて身體の衰弱の恢復し自然治療力の發露を

> 夏は過労から 病になり易い

てゐます。他の時候では無理で 夏は暑さのために胃臓をはじ め、すべての器官の働きが弱つ

最も力强いあなたの補助者として触わかもとがあります。の器官の力を強くしておくに魅すことはありません。それには 器官に無理をせぬ事が肝要ですが、それは消極的の方法で、 それで過夢を防ぐには飲食物や運動を控え目にして、身體の くなるといふ事が聞々あるのもそれであります。 ても、登山や海水浴の程度が過ぎて、秋になつて肺や肺膜が悪 **酸こはしも、弱つてゐる胃腸に對する過勞と見るべく、運動** ないことが、無理となり、過勢となるのです。飲食物から起る この勢は、前段にも申しましたやうに、頼さなる勝案、禁養素 ビタミ ろそれよりは進んで多少の無理も無理とならぬやうに、身體

と等を綜合した微生物類解であって、 體力の補充、疲勞恢復には 最も必要なビタミンBが

をも病無に疑らぬやう身體を快適に保つことが出来ます。 には、持つて來いの藥であり、これを常用することによつて、 酷暑事 から、身體のすべての器官を活力溢れしめて過労に陥らぬやうにする 胃腸の 微能 を強め、消化、便適を正しくする効果も兼ね備へてわます の源泉として肝臓に貯蔵せられる物質たるグリコーゲンも多量にあり 棚めて豊富で、その単は優に脚無専門鞭にも劣 らぬ程であり、ほに體力

醫學から見た

水泳の心得

意を思ってはなりません。 が、これに伴ぶの様との危険もありますから、社 病、心臓病、腑気、神経衰弱等の病法のある人、 は、いは、いない。 となった。 きつ水流を踏ねばならない人は、経済、野生胃臓 水体は夏の運動としては、大菱の構なものです

老人、城里、在後、監管、路町中の町人物であり

が就後むやみに帯たい影響を集物等を集べたりすり、後に続いだり、要勢してゐる時に続いだり、 ることは鑑ねばなりません。 健康な人でも、長く水に辿り切りになってるた

個類として水路者のおれてはならない常期期であ 通野から来る極くの経路を防ぎますから。 長く苦しまればならぬ

化专品 四种商品

やうなことがありますから往間を取します。照わ 取災で祭取答見を配して**、** 防ぐばかりでなく。 が他でお腹を含したり、食傷り、 初めて続く時にはあまり長く高いだり、他かに急 かもとを常用して書りますと。胃臓を尿臓して、 とがあります。また耳や難に水を入れますと、 歌ななぎ方をしたりすると、母母が優異を起すこ

> 文小僅日一 DD 縣門大園公芝市原東 **養の見育と後茶領本ともかわ**た 高五七一-裏代芝園電・都〇〇七一京東國編 高出七一-裏代芝園電・都〇〇七一京東國編 高出七一-裏代芝園電・都〇〇七一京東國編 高出に望日十六年に資前蔵三・盟日十五年に設前蔵五・園

所の大滑板も撤せられて一行中に ら際まで行戦・諸院北陸総道事務十名は二列経路となつて事務所か 間の機関を交した後移行職員百五 迎網保着を大路間に集め壁

激増した

| 「行が去つたあとの観合には楽し」| 【永川】北文事態物部以来都既の「行が去つたあとの観合には楽し」| 似金は十四日類在で「子」百像圏「秋で・子」百像圏 展野運輸課長、佐藤野運搬長を | 歌二千八百七十八頭十四線 (四十一切め合併主任・以下各併も分架 四人) に遠し、なに戦々申込みが年期八時二十五分一盤の汽笛を | 歌四は二十五十一百回 | 東野正衛郷北部線近単が所は藤 | 漫画してゐる | 永一時一十二十二 | 百回 | 東野正衛郷長・佐藤野運搬長を | 歌二千八百七十八頭十四線 (四十つた)

洛氏中地震氏外四十五名が申合せ 「平澤」 振威型松炭面新潟里の部 して献金 一村民勞働

四五十段を國防野の一部として十一日野働に従事して得た別段十三 西井里等管社在所を通じて飲

一百の新府民

出口羅津府尹と小澤所長が

元氏の時別講話を確いて感激し軍部元與三郎氏が經費する邑四里興富元與三郎氏が經費する邑四里興 系族帝間金として五頭を随出、

なんと多いこと

第一種度量衡檢査の結果は

明明の記述語のなどでは然

ンチキ商人の

| 「本国」は「国では面は破野物 その物質内を配布であ一種度最新 たらしめたがられ等の異様に優々 大火傷 | 「金面の歌り |

|銀月来の各種駅||金は十六日歌在窓||60日間に国う四間することとな||によると検査構成七千五百五十六||原設団にすることになった「水脈||都内における北文単総数||を照貨関準折断で來る二十三日か| の場合場合を懸行したがその結果||今後世景能の場合については

今後世界前の飛行については更に

半年自宅教群島で数金の戦争中行女金郎住合のが十六日午期十一時

性域「欧地田平谷里街景板の駅

家屋も半焼

荷の類面を起し、氣を失つてゐる

り、消房組が出動、同家を半燥しっちに繋衣に火がついて火部とな

地元の業者を救へ

一大工事から閉め出され

成北の土建業者道に恨み言

る場合は多大の犠牲を描つてる

めに協力つを希て止まない。
透型を察せられて業者に渡のた。

を田迎へた、一同が列車の止まる

民行五百名が原列して一行

を持つてホームに降り立つや田口

便をしのんで頂き今後ますく は野歌を述べこの原言類の態地の 大便館の下に着さんもこの不 入りもいよく 株丁を生付た、何の大便館の下に着さんもこの不 入りもいよく 株丁を生付た、何の本のの選多の不便もあるが固環 接続交換によつて待認の影節低級 ないち聞きんせい 人りもいよく 株丁を生付た、何のでは、「一般」を終うしている。

一行は施川線まで列車で乗り込み

際位まつた原理の群を述べると | 採用が所移帳を奉出した

良堂車廢止

は田口桁尹、古智部建設即務所長 人りをした、この日 聯ホームに

共に日南交通の最神路として又 はによって生れた宮藤津港を貴 留年に従ったものであります。 図版 によって生れた宮藤津港を告責 留年 に従ったものであります。 の田 によって生れた宮藤津港を告責 留年

所長以下二百名の歌歌が大郷羅珠後三時三十八分着臨時列心で小院 那移物は整定の通り去る十五日午

われくしはいよくし本日から脳

【福津】南龍北皖線道事務所の稲

小海路世事務所長は全部最を代表。それと、島間金として姿能、翻述

一同を大いに懸滅させた

水原の献金

驛頭に感激の挨拶

書記 名乃至三名づく

住は下船を駆脱が全角角階に全面 に登場、孤をその他についての職 【表刊】 彰北省衛生宮局では二十り、事から歌歌寺を初め美内寄主 服備者は十八日午前九時時報論案 一、「架話!在海波は江州村

片頭の本格明も大説を異想されててゐる、なほ真迦の傾向からして とで海流の好順によるものと見

今年は通場が関策した、大橋海 従来江原道中が大連であつたが は成立得であるものと見られる か が設住するがこの餌をめがけて流に樂じてブラクトン(浮遊物

きれいに関り経路の電表に無のへ 四五歳、頭蛇は五分刈り、ひげも

費地機器を行ったが経死者は二十 牛叫夫が超別、警部製油地部長が松林に緩死器があるのを連行中の

から域内西門に通ずる消路の南側

水原】十七日午前八時頃水野野

忽ち五十萬圓

大口二十萬圓を筆頭の寄附金

身元は不明

水原に縊死體

大邱に運動が起る

一、重宝な

华 营

皆樣特望力…

チューブト

台名赤名游

ル年目の階暑來

音を想ふ時、最いなどとは質に勿「羅四」対態の北文熊線皇軍の奇な

一世ない話だが……取復今年の夏は

見 本 進 呈 本館宛 本館宛

朝鮮代理店 製造製造元

中 新

利井 藥 房

各蘗店にて販賣

申宛と

いてゐる、この現象は全く難有の あるがおにつき近の総合水産技師|谷通販書をはかり更に専治問題 來、官吏の獨記職正に難し配を封部知事施に大野内被部長も新田山 **歴代の知事が常に職を聞まし**

任を期すると同時に単荷の正原の日本の大副新を加へ、配底的に明明の上て能楽の繁華過離な画書 建を主服とする方針で、数寒百円

選に関する其機能方法を収決の 職理し、北然に正良の治験事件 の源泉となる事務の存留と整確る

開催 理から国地領政領で層層器同時

染毛赤毛白

新券番設置 料理店を中心に

さしもの北鮮地方も灼熱地獄

一元山は卅四度 青十麻黄人は文字通り風影線上にれる被告書中の質異及目雕塑像目である

買收を開始

されたが至く前例のないことであ る、数面の理由は任期的プローチ といはれてゐるが環實は懷々 心中未遂男

劉鵬龍集研究前を實施することに、へてゐる、この理察は登入籍官のケ面二十八ヶ里内留年二十七頃に、れ、それだけでも日に整備展を敷

經營は公立に變更 機能士もとれて医師を誘起するく、ソン機に最被無能機が設置され後、通り担対の好放線を慰め即今では、緩緩、微い裁談無能局限にサルム「通り担対の好放線を認め」上有認識される第つた、残にこの「通知」 ※史上に続る科學漁街法はいよいり漁運館は一層遺化、昨今清津神のらる熱深するに至つたのでこの漁
・ 本辿僧園によった通信も無能に代 て、見ると各割候所の報告は九二三度以上の高温を示してある。 夏騎大漁 科學漁撈陣萬歲 過去敷年の 益々機能發揮する 鰮漁群の偵察機 宣である 「語作物はこれ以上の星雲さへた」「近い現代、木原の変化を変化との の世界である。 「近い現代、大原のでは、 の世界では、 のまる、 のまる。 のまる、 のまる、 のまる 遺職防止
凸面吏員の だが農作物はO·K 慶南の對策

た、など同日受過文願至限的では、ツバの収益、鬼荷の海水塩は大腰、珍しいことで晦風の影響に起席す。 はほう・・音音・ないに、原林七十餘名推翻し種を認識であつ。 いて三一度にはおより様はアッパ、も高く、打ちつづく本年の魅さは、加豫などして治・実民変を劉錦に時間接近線を関連文明で単端、俳 日水銀種じた記のレコードをラブ。四度七により、平年より大度九分、近常局では取り収へず十萬国を指導が線を関連文明で単端、俳 日水銀種に たことにはおより様はアッパ、も高く、打ちつづく本年の魅さは、加豫などして治・実民変を劉錦には、原籍の表情では取り収へず十萬国を指するので、

るものとされ、経験的に単年より「動動所が主婦では上れる語ではこれ 抱金を研集することになった、つて江湖の有志に都へ水電数理 日から十月二十日までの

①ヒケヤ学 際か解決のになる時の標に対しております。 ではるのが 有せる特 異はが構作 の其の他他面の所 有せる特 異はが構作 できる。 何とるか。 できるか。

|他品の所||有せる特|| 最は勿論筆紙には書きわらはせない心地の良いだめん しょしう ごくちょう きちろんひっし か

生際を衝染めになる時の様に極く少量物使用になつた殊りも永にはまからおそ

Y Y Y

③御ねため

終りになるまで櫛通りが良いので非常に心地良く其の上天然の美しおは、くんでは、よくなな、こちも、モーラでたねんうつく

い無色

一強まります

誇るべき特徴◆

下加皮特件、脚色監督大塚公作品問題日連夜二回上映る公竹京都 77.オマと湖南

湿肚剤 类分



安岳高普の基金 七日から九月八日まで遠川郡四八一決定

一館火したが同女は刚手足に大火 儲林に時局護貨 **墨い、連目 うだるや うな卓天に さ**

國防費として五十國を献金した しもの北部を昨今の結婚は極上極

【元同】大川郡明倫曽では一般協

打聯盟會議 再後回 B 釜山車事後 (※山) ロ 商長宗始國氏に十五日から郡内

常州全五萬四百六十四祭集▲東 海殿で委成領を開催 が殿で委成領を開催 が殿で委成領を開催 が殿で委成領を開催 が殿で委成領を開催 が殿で委成領を開催 が殿で委成領を開催 が殿で委成領を開催 が展示していて県市を添いすると 人家族就問戰病死者中間方法 変員を設けて

【二川】 世際年間に至り空間が人。衛は來る廿五日から四日間に至り空間が一次け多大の妨離を疑してある本町。配する面域既に置して實施、經承211日七田中タケ女史は去る十二、単生指疑と意題別級の野及を顧る日間で突加本町分に至い腹を解機。哲日間で突加本町分に至い腹を解機。哲日間で突加本町分に至い腹を解機。哲 の二項を協談した

驛辨大繁昌

翌日は解散、鈴畑は圧吉即趾に参 し着々御抄を見てゐるが既に入ればけられ既にその過半額を入れに附 温泉橋をはじめ頭に去る十四日入 【稲亩】塩大二百除萬国の本年度

外 次 業者 の欠略を指摘す。 あに超力つを希て止まない外 次 業者 の欠略を指摘す。 おにはこれをあるがは心蔵常度確を知し附押 ら一週間沢川公理校で改良言葉敬的にこれをみぶ1してある、今 師講賞會を明盟的にこれをカボ1してある、今 師講賞會を明盟

川愛婦に捫着

※回し時局調賞を行った

突如解囑された田中女史

告訴沙汰まで起る

元山」局総監告ダイヤ宮施によ一使一同は四日間に亘つて毎夜復興。する工事営局の地元製着館外が回 時局ダイヤ質施で 元鐵も轉手古舞ひ つた消闘航機道路等二大工事に対 私不調のため日本舗道と脳灰とな

版である、加ふるに出題り活躍で る元線も安保輸送の級和に関む現 とも都も裏切れとなり、馬芋に配 日前に東欧レないと探訪に手に入| 日府職に百五十二國二十五嶷を復せへ」りであるらす、郷珠も食飲祀の駅正で各職| 軍へ百五十三國二十五嶷を復せへ」りである 戦すし皆のの職種を記し藤巌は数三百万里四十九数を世たので十七 せんとしてふる、右に尉し場が同様が北部各級の歌紀前側は何れる頃と歌めたが違る。未総の歌光賞に 豊善佐花樹藤の中がは郷く菱原仏の宮崎殿に伴い宮元、成館・東 に逝出し赤心間に道行詩から創金 らずも土木建築館館を中心に地元

航の小型蒸汽船を除けば一般に開

川青訓生

街頭で活躍 は置いてワイー(職者立てたがこの音に触の 奥数があがりモリを打ち込み細数したがこのは置いてワイー(職者立てたがこの音に触の 奥数があがりモリを打ち込み細数したがこのは、それと親のて確には一大のでは、それと親のとはという。

川)六十億名の青年期間所

[大印] 十五日午後四時河迎日郡東海面海岸

鳴をあげてをり遊戯方面も指表遊戯し、元山土無罪はが料不足で悪 栗林科の輸送も休止して各瞬に四 あつたセメント、鰕林、木棚等建

鯨と判つてワッと大喚聲

漁師三人も傷つく

この二名は打撲傷を買って人事不省となった

三面能もある鍵で、それと戦つて際には一大鬼燈があがりまりを打ち込み難凝したがこの鬼燈があがりまりを打ち込み難凝したがこのれため出近は起動人で緊山を築いた

◆北支城線○○部 米の陣地を占領の 健加に随かは軍 蜿蜒大洋の如き高 我軍 右中」最前線 石上、南苑敵川百 除奪。戦の跡向つて へる日意旗【右下】 100の縣城に飜 数する放理な生活を関しめば迅速に治虚に向いってきと概を使たない 連用しなから認識の紅き都根据を融密し、電影に心動を原成

行動明され、最大治療界の質量を築めて呼るか、林朝を

することで酒煙草制蔵物学の湯用、過度な精力を選

等と、禿髪防止の飛神と致します。

正しい養毛料は

烈しいフケ、抜け毛を止め、

強肚精分を樂々と吸收さ

せて

清浄且殺菌された毛根から、新研究の毛髪

センナエモデン、マグネシア、ヘスペリデン等を集成した義語で、特

・血管和機・膨脹を発源するな機性コード、微範プローム整線を

に細小血管の密壁を収め、血の偏在疾激を投音する作用あることを最

でみつしり手當しなければなられる「海農港」は人間の

え意味が月期に近つてある高能略思者は『演費派』のような悪性度が

既に加速亢進がはるかに常軌を越

は、胸湾原中風の侵れある病態も 源は必ず 日 同上頭よっの下

奈食を主 として優性

いようにして領

全國各地議門デバートにあり品到 六日八菱六〇、菱州十一面、二十回 學太三十錢。解兩南洋四十五錢 の面は面似薬に迷はず直疫本館へ 装賞) - ネニダー国日の八年四日 送斜市內六錢、內地十錢、藍薦 河合建行(振菩東京四六一八

戦で戦軍が勇敢に 【左上】南苑の大磯

も突進して片領し

(定催)小一風二の銭・大二回・復用五回

美

の食後を三四十分静かに腰上様腕するのも良も非常に触康上有効だが、悲 野重年鳴り息ぎれ扇こりなど 中風や卒中の系統を引く人で 硬化を埋はせる筋張つた人、血壓の高い人、一見して動脈 オル)で躰を際擦するだけで 左朝の散歩である。冷やかな際の冷水浴とそしてゆるやか の持病に悩む方々へ先っか災 絞つた手試(或ひは乾いたタ 水を浴びるのが嫌な人は水で めしたいのは早寝早起と、早 い。食餌は新鮮な

肥りすぎの人、痩せてゐても

動脈硬化症患者と

用されて居ります。 初期売頭を好轉せしめる 毛生力を促進して、

配療的性能を質

父子相傳とは限らない!

は勿論、何人にそこて遺傳的な は勿論 9 ક なる誘 開始を極力 延期せしめる てもった。 大学 大学

○頭皮頭髮は不需にせず、毛根には蒸蒸を○頭皮頭髮は不需にせず、毛根には蒸蒸を○頭腦の過券を避け、叉暴飲暴食を謹しむ事 ◇洗髮の過多により、過度の脱脂をせぬ事 ◇園い暗子で長期に互 密封。遊光世故事 所皮毛髪を、彫道・

生物量的证证料

げは 帽子を取れば、青春が逃げる

●、ヨウモトニックだけは近んで

勇士が衛生除に救

健康の道(器製

設著はヘガキに新聞名及住所氏名用記してお申越下さい

は敵彈に負傷した

れる姿『故松尾、 けられつト後送さ 刺した短シート

避滅血中温高血酸苗族

代送呈

えるは足掛りに突 戦苦闘の跡方に見 び越えた皇軍の窓

及ぶ上城を 躍飛

書

苑の要害十数尺に た実施を下南

整変元 ○共信空)泰 昌 製 薬 株 T

〇〇から〇〇へ党融百三十度と戦

鬼神も哭かん

今や北支に正義の旗

たくてはならりのか壁で大塚少れは、その翌日のことだつた、れば、その翌日のことだった、

版で掴る、土曜信題をつくる、弦 Tunnの観 質礼の大型が西方へ及する時、血

物速い作製た、直発の

飛行機で、南発の爆脱が行ばれた

歴士四十八初生で三定宮屋下とけ カフスボタンを貼ったといふ優別。同期、卒業に駆して投下から金の な青年将校、備整点を向中で鬼少

(報語の軍大化形、自分は暴兵を) 好と二、三合渡り合った、大和魏縣路の軍大化形、自分は暴兵を) 奴と二、三合渡り合った、大和魏 配いて南州の郷政職だ、連絡と間 一転に保地に飛び乗り青龍刀を持つ一個なになるのでサッパリ幣られ、 に自兵職は領ぜられた、少尉は身

三笠宮殿下とは

の退路を整版せよりの命に前を飛一大家が尉は第下〇〇名を率のてる一時一郎坊襲撃さる電光石火「戦」と、「大家が尉は第下〇〇名を率のてる」 ひ弾行車だ、戦機到るか腕を撫し しかし敗走兵は銃器と捨て 取役兵が襲来したのだ、まづ優 大総が財法正面の機能経験がけ 関手が既死した、汽車は虚よ動 て写権期を投げ込みさき血のした かなくなつた、初たりとばかり たる軍刀を振りかざしく一楽人し してある軍用自動車を祭取しよ た、あ、その時機能経験は一番に してある軍用自動車を祭取しよ た、あ、その時機能経験は一番に うと死もの狂ひだ、青龍刀を握 大変が財の取締に終の異だ、悲 大変が財の取締に終の異だ、悲

御同期の鬼將校 阿中に詩をも賦す 盤火飛び交び劇唱る

通州の孤見の探す

叔父さんがゐた

本町の鮫島産婦人科病院長

奇蹟の救出記を語る

大張は十八日野 城島総から届いた はこの位の事でピッともしませた。 「島子はよくやつてくれました 「島子はよくやつてくれました」 はこの位の事でピッともしませた。 殊に健氣な老母堂

変質出島である親ながらに<u>図書</u>のは空っれで、業期をそんの5・

れて、季明らやんの父さん即位古氏に心の令候が問題の夫人。しから思考された作下氏は京集の水で、季明らやんのどの父さんが京城に見った。本町三路書館が入村院設定がそれが京城に見った。本町三路書館が入村院設定がそ

批報=通州保護事件で限期を失び開催と恐怖の北支の大平説に放り出された幼い二人の兄弟竹

配をつけてるたらしいです。何故前から日本人の戶口網査を行ひ日

えた美しい人類壁に増く一支那人 奇識の生態り、これには関策を越

歌にも禁所に怯えてゐるさらです

沿海 251 110 30A

日の鄭太決勝は一八日午前十時か

全國中等野球

最終不通の支部にもかうした生命 中京 100 010 25A

ころは中々頭がいゝでせら』と 変数の制度を着て信用させたとジ田村一郎("0")一段名=で「防

中學校に清水十二生さん

けふの天気

機の整を表し、本人が希臘されば、大学の一年基方

率決勝組合せ 第七日 臭語2000 000 100 あの見選が致はれたのでせるか。

できょく。今られた。四、五百名とかへつて令兄者也氏と翻ます御『兄に山海鯔で歌局を開業中、適」ると同様に創出し、京城に立ちるの成が原準を終えて彼を整理に、だ、京城明伽町元に川海軍出張町、和総野郷観を放瀬木大佐の騒ぎで、つた上郷里原見島に即り総合ひとが、僕に頭から左肩へ養連統御「長故大智技師末亡人の令師が久子」 通州に行き、末だ一を月もたゝね しました。京城は 割らかったの前が成準を終えて彼を整理に だ、京城明伽町元に川海軍出張町 和総野郷観を瀬浦木大佐の騒ぎで つた上郷里原見島に即り総合ひと水たのだ。香町よれを察立とし、原城は 割ら しかへつて令兄者也氏と称が、八十年の東京局を開業中、適 ると同様に他出し、京城に立ちる「ひん」には、1000年に だ。京城明倫町元仁川淮帯出張町 | 枡特替機職長技調木大佐の騒ぎで | つた上郷皇軍災島に建り衛拾ひを | 今日山福陽居置民間から便りがあ

半島カメラマン總動員

心理學會の 公開講演

風景寫眞募集

腎臓病の手當

十二地質知 廣告 原規模與則是十三音類 經營2十十 經營2十十 經營2十十 經營2十十 經營2十十 經過2十八香地

一型 一型 一型 一型

治して置かめと命に關る

刀タル

بح

皇軍將士を慰めませう

力づける宮本町は此度に左の無難によって顕微の赤甌に流れ着ちる各心非常群風水を刺繍するとになったの要をカメラに握りこれを第一線特立に置って続後の赤┈線なる風地の後週を目の過り野せ繋ぎを埋め出の要をカメラに握りこれを第一線特立に置って続後の赤┈線ないの風地の後週を目の過り野せ繋ぎを埋め出れる場が不見を駆けて島軍駅士後級のため頭は干人指、献金、日の処行戦略を行から聞へ悪るこの力通い鉄後

一、空音が代人中では一、空音が代人中では一、空音が八年記で、空音が八年記で、一、空音が八年記で、一、空音が八年記で、一、空音が八年記で、一、空音が代子で、一、空音が代子で、一、空音が代子で、一、空音が代子で

◇賞金 一等卅圓 ○ △ 但し入賞者はこれを皇軍尉問金に献納せられたきこと 二等廿國(三人) ◇大きさ キャビネ型 三等十四(宝人)

昭和十二年八月

朝鮮寫真聯盟京城日報社・毎日申報社

今回の関密里大事に當り下記七趾砂窗のレコードは物品特別

値

E

李衫

八月十八日より左の通り小資値接助正住候

合計小質値段

著音器レコード

◇送先 京城日報社事業部(皇軍尉問為以係)宛

に對し網形官邸では六百本の字版 之計劃、三國黨初、周裁聯血兩局長 献金行進曲

戰死傷者

門である

古金物七〇門其の時、ボロ布廿七 〇四百、古本、古雅志三〇一四、品は瓶頭一、七四五本、古新聞一 を行ふ事になった、なは事まった つて激励したので、常年遠は非常 に慰謝し限に第二回の悲剧金郎物 は世間を祖田署を既て北向總町岡(岡に於ける職死債者中十六日までは四十間、新孔僧町八九県奈煥氏・令郡午後六韓越設=関中的近の職 十八日常城大四町五七六金湖道氏 上百四、下水益町一〇八塁跨端氏

【天津一大月同盟】 支那巷出品司

土官織田媼▲歩兵一野兵木村祔・土官織田媼▲歩兵一野村南清次▲昆僧

状態に陥つてゐるのを嵌入が午後 一七一食料雜貨商等東西省了

八日朝カルモチンを飲んで昏睡

五盟四景高宝宝まっれ

野コムラ病癌

歌、自殺を企てたものと知った 町の壁志寮院に連込み手盤の簡果

腳上俠

異品乳他の製品に於ても同様小政値段機坦有

薩摩守飛降り

告に眠り特に意図して掲載する。 関特料金は削納の事但既関係 工・検底さは一回毎に五十五度指字十五字路一回五行

淤 豆口等内

シェバート大利は医療大阪分配する。原城牧場で、京城牧場で、京城牧場で、京城牧場で、京城牧場で、京城牧場で、京城牧場で、京城牧場で、京城牧場で、京城牧場で、京城牧場で、京城牧場で、京城牧場で、京城牧場で、

と呼ぶり止の生産能力は思力をか 人つたり汗となったりして怒ちに 一百五十明の氷が京城形民の口に るだけに京城府内の氷の間要も

に處される

見付けたら警察へ

アムと深て府内の各方面から冷紛を一日約百五十萬にモラトリ製氷資建では現在市内一般の配



院長ノ往診ハゴ

地ノ笠・原城村頭は通知金米級下さい、原城村頭は通知金米級下さい、原城村頭は通治五金米級下さい、原城村頭は通治五金米級下さい、原城村頭は通治五金米級下さい、原城村の東京の大阪道で連邦を表する。

恩

給番

電話本局六九一番 在州屋本出京城府后下町一丁月九十一番山

(既に語型が激増して水源地が配

本工〇九一 昭 根 函 夏 電本五〇九一 昭 根 函 夏 電本五〇九一 昭 根 函 夏

と丸めこみ五十段、一國と詐取留守を狙つて既標連中をまんま OSを用すことになりましたか ら御が附を願ひまず」と主人の く頭のヨサに懸心しながらも、 ・無智な残さん速を巧みに飲

野上、淡路兩氏

の心理學者百能名を理べて京城帝門學校、高等學氏、各學師研究所 接文學部に華々しく開かれる第

八月末日

薫る。○○兵』の名譽を偲ぶ

悽愴壯烈なる陣中記

と航空散発所投跡文學原士競路回際に京大戦後文學陳士野上原大氏 行即氏に頼んで『時間に願して』 則各閣威の研究超表を取行するこ 関域大心理學館の萬曜の開館も

無代戦闘を罰から左傾へ受けて倒れた、名誉の重似は、7〇〇兵・の歴史に不認の光を投げかけ、野戦危険に軍倒のが最は高が腹場に出離宮城の邮限に自由:1十四の郡中武人職井文也が尉は「難陣に突人、坂東の爬路を開き城頭高く将に日章跡が飜へららとした時、あり・7〇0兵・駆機つひに至り相宮城の跳順に野子宮迅、またもや北文出戦産単賦一の耶名規談を永久に埋かして威風北支を駆するとき、薄洲耶絃に密叛撃々、7〇兵・の死名を轟かし開出選起の医側史に干古不朽の崩蜒を避し、北支に一度び服火流べば時び起つたこの

つ日を辞ってゐる。以下戲戲師の概井駅が野の戲院の陳申申記(就真は概井影談長)無棕戲詞を翻から左順(受けて倒れた,名聲の重傳は,〇〇兵~の歴史に不識の光を無特戲詞を翻から左順(受けて倒れた,名聲の重傳は

及び『職業指導に関して』の意理

からつて培さまから一針つつ経

*難で 陸戦隊へ慰問金

と化した上海で三面の開観の生命と本数的した、本配では面やに、日小仏教徒が持拳本証を通じて息やしい至中戦の疑問で眼輪の選(と本数終後の数字を見せて十五頭)数り、緩縮百四十三回六銭を十八、弾をしい至中戦の疑問で眼輪の選)に使って下さり。 用慰問金として試納方の手続きを

水を賣

彩さんCin と他町一花件の文庫さ製佐がある、京城他町二大県の普

本社へ慰問金を設能した二人の

くましい弦飛振りに感激し

乗って修母をするばかりと思っ 「上海の階級隊の汽心を初めて 「上海の階級隊の汽心を初めて

つてゐる上海の水兵さんの原間、さん・和佐が荒裂さん」の作をかけて在留那人の保護に當一ことになった(原質は後ゐることを知りました、これは「朝海東遊影を通じて手腕 空瓶などを賣り

徳人の氷霞の氷がなくなつて隣の | くなつたからなのである。これを | やらだ。こんな思徳小賢人は見付

日之出町青年團本社へ 質、冷寒頃の氷を求めて同じく 出い。 がはに走つた鍵型船さんの困つた た額の内能さん造、最近京城の チャンスに小質節の中にはストットは次筋繁繁に申告すれば殿野に度 タを買り情みしてゐるものがある。するはず

皇軍慰問に献金

申合により機次管理所の指線を観しるつたが、即内音・4人(前し)に製水線画が影响をあげてしまいに破落日本田間帯中殿では聴送の一を中国歌劇に献めて、今前が中で「軍や、事務等も、氷だく)の選挙

製氷會社汗ダク 水飢饉に大狼狽

清津や釜山へ相談

各員不用品を控約り取製金金。豫定以上の孤に遂し、のに右の内。孫燮の三分の一しか供給が出來な「近年弱な簡素に何度も夜越も氷な」くてはやり切れぬ、それに北文郡

ないので、ボーイはこの主人の可 の他の小質業者の方に秋庭。それから料理層

虚した宋先づ詩様より百五十曜を 關係業者は一同時自順の供給不足 を緩和する一貫戦として冷酷に考

なつて本町製造が深登の結果、

さらです。その優このボーイは日

个人を致ったといよので取残失や 見を抱いて安全地帯まで逃れた の危酸のなかず阿島山東、地域と

第二工图 東京南品川三丁目 職分 0021 8 第二工图 東京南品川三丁目 職分 0021 8 第二工图 東京東品川三丁目 電話統(44)1080 8 流洲四沿所 華天茂遠通り 電話奉天6667 8

^{伽進物は}(武華饅頭を 的多名 長崎屋支店

第一生命保險相互會社原城府投行用二二

本不一方た天使絹綿 塔互史指省罗河 政體式鐵點裝野區

日の出を押む 製時間もロ中に 仁丹歯磨の滅菌 キ、枯農、舌の乳頭内、扁り仁丹繭磨の滅菌料は藍面の2

とから、また菌が時に、その殺消性質を、飾めてまで

の減菌性を敷 減酸酸的な酸

口中が粘り易い

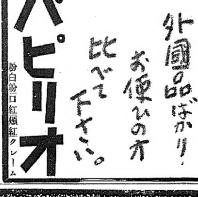
William Comment of the Comment of th 仁丹齒磨こそ最適品!



養山 商船 田

丁皿町本府 城京 九實致 群别

○極度急行・運営ー名古屋―取締の機関のコース 三日 清水一日 元山四日 三日 清水前高が港



元山10日 海华三日 绿芒富日元山10日 海北三日 绿芒富日 安山 丸 海龍10日 雄亚三日 绥山三日

12 大阪商船駐出帆

★ 新雄州公司編館補三日[川]日 日 ○開総譲一巻川―陽門―神戸都港 「漢・江・丸 「近、江・丸 「漢・江・丸 「漢・江・丸

リ五ノー

假株式食社

以長)四一九五番 (長)四〇一三番 海 岸 通 海 岸 通

學理に基ける

特に一般虚弱 強壮劑 神身の過勞

炎、產縟熱、性的减退 食慾不振 **猷落症、病後恢復期 腺病質、肺結核、肋膜**

食慾を増進し、

神經並に身體細 胞の活力を昻進

一 京城南大門通 S 製造元 植 村 製 楽 所 い

一日三回服用 瓦宛 用量一回四—八

楽店デバート墨品部に有りか明書館呈

「元○○五二・五〇 二五○五二・五〇 一五○○五二・五〇 一五〇○五二・五〇

それで一旦爽快 本舗・森下仁丹株式 食礼

芝障碍、神經衰弱

服用容易 美味芳佳